

会 議 録

会議の名称		令和 8 年度第 1 回つくば市図書館協議会		
開催日時		令和 8 年（2026 年） 8 月 21 日 開会 14:00 閉会 16:00		
開催場所		つくば市立中央図書館 2 階集会室		
事務局（担当課）		教育局 中央図書館		
出席者	委員	鷺田美加（会長）、齋藤てる、鐵見咲希、呑海沙織、鈴木もえみ、桑原千恵子、木村さおり、杉本まき子、杉本幸弘、鈴木智里		
	事務局	教育局長 久保田靖彦、館長 柳町優子、副館長 大口勝也、副館長 中川憲二、係長 川田美紀、係長 細田麻美、主査 木村未和、主任 村松ななみ		
公開・非公開の別		☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部公開	傍聴者数	0 名
非公開の場合はその理由				
議題		(1) 令和 8 年度重点事業等について (2) 令和 8 年度事業計画について (3) 令和 7 年度図書館運営上の指標に対する実績評価について (4) 蔵書点検の実施結果について (5) 令和 7 年度利用者満足度調査の実施結果について (6) その他		
会議録署名人		呑海委員、鐵見委員	確定年月日	令和 8 年（2026 年） 9 月 17 日
会 議 次 第	1 開会 2 委嘱通知書交付 3 教育局長挨拶 4 委員及び職員紹介 5 会長選出、会長挨拶 6 議題 7 閉会			

<審議内容>

1 開会

○事務局：皆様、お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。ただいまから、令和8年度第1回つくば市図書館協議会を開催いたします。本日の進行を務めさせていただきます、中央図書館副館長の中川と申します。よろしくお願いいたします。

会議時間は約2時間を予定しておりますので、御協力いただきますようよろしくお願いいたします。本日の会議につきましては委員13名のうち、出席者10名、欠席者3名。よって、出席者数が委員の過半数に達しておりますので、つくば市立図書館条例施行規則第26条第2項の規定により、会議が成立したことを御報告いたします。

また、本会議は公開となっております。御承知おきいただきますようお願いいたします。

会議内容につきましては、会議資料と議事録を合わせて公開される予定でございます。議事録作成のため録音させていただきますので、あらかじめ御了承ください。また、議事録を作成するにあたり、議事録署名人を選任させていただきます。呑海委員、鐵見委員にお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔委員 了承〕

○事務局：ありがとうございます。よろしくお願いいたします。

2 委嘱通知書交付

○事務局：続きまして、委嘱通知書の交付に移らせていただきます。委員の改選に伴いまして、13名の方を委員に任命いたします。任期につきましては、令和8年7月1日から令和10年6月30日までの2年間となります。ここで、皆様のお名前を読み上げさせていただきます。着席のままで結構

ですので、御確認をお願いいたします。

それでは、つくば市教育局長の久保田から委嘱通知書を交付いたします。お時間の都合上、代表いたしましてお1人の方に交付させていただきます。

〔委嘱通知書 交付〕

○事務局：ありがとうございました。お席にお戻りください。なお、皆様の委嘱通知書につきましては、あらかじめ机上に配付させていただきましたので、御確認をお願いいたします。

3 教育局長挨拶

○事務局：続きまして、つくば市教育局長の久保田より御挨拶申し上げます。
局長、お願いいたします。

○教育局長：委員の皆様、本日は急な雨が降ってお足元の悪い中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。本日より、新体制で2年間の図書館協議会がスタートいたします。委員の皆様におかれましては、これから2年間にわたり、つくば市の図書館行政の発展のため、お力添えをいただけることに心より感謝申し上げます。

今回の委員選考に当たりましては、市民委員の4名の募集に対しまして、実に15名もの、大変多くの市民の皆様に御応募いただきました。4名の方、本日は御出席をありがとうございます。応募された皆様の図書館に対する熱意や期待の大きさというものを、大変心強く感じたところでございます。私も審査委員長という立場で選考に携わらせていただきましたが、どの応募書類にも地域や本を深く愛する想いが溢れており、選考は非常に悩ましくも充実した時間でもございました。改めて本日御参集いただいた皆様には、そうした市民の期待を背負ってこの場に立っていただいているということをお伝えさせていただこうと思います。

さて、現在のつくば市の財政状況を見ますと、大変厳しい舵取りを迫られておりまして、本年度につきましては、この図書館の図書備品、新しい資料を購入するための根幹となる予算が、昨年度の半額まで縮小せざるを得ない状況でございます。補正予算等で多少は回復する見込みもありますが、それでもなお厳しい状況であることは変わらないかと思っております。図書館にとって、新しい本や必要な備品を整えることは活動の基盤であり、この状況は大変苦渋の決断ではございましたが、厳しいからこそ、知恵を絞って、限られた資源を最大限に生かす工夫が求められているとも考えております。これから2年間、つくば市の図書館が市民にとってどのような場所であるべきか、どのように読書環境を守り育てていくべきかについて、委員の皆様の豊富な知見と多角的な視点から、ぜひ率直な御意見や貴重な提言をいただきたいと考えております。

最後になりますが、本協議会が実り多きものとなりますこと、そして委員の皆様の今後の活発な御議論と御健勝を祈念申し上げまして、私からの御挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

4 委員及び職員紹介

○事務局：続きまして、委員及び事務局職員の紹介に移ります。まず、本日御出席いただきました委員の皆様から自己紹介を頂戴できればと思います。

〔委員 自己紹介〕

○事務局：続きまして、事務局職員の紹介をさせていただきたいと思います。

〔事務局 自己紹介〕

5 会長選出、会長挨拶

○事務局：続きまして、当協議会の会長を選出させていただきたいと思います。選出にあたりましては、つくば市立図書館条例施行規則第25条第2

項の規定によりまして、会長は委員の互選により定めるとありますので、委員の皆様から選出していただきたいと思います。会長の選出について、皆様にお諮りしたいと思いますが、いかがいたしましょうか。

○委員：はい。事務局にお任せするのはいかがでしょうか。

○事務局：ただいま、事務局に一任とのお声をいただきましたが、いかがでしょうか。

〔委員 拍手〕

○事務局：ありがとうございます。それでは、事務局案を申し上げさせていただきます。事務局としましては、鷺田美加委員に会長をお願いしたいと考えておりますが、いかがでしょうか。

〔委員 拍手〕

○事務局：ありがとうございます。ただいま、多数の拍手をいただきましたので、会長に鷺田委員が選出されました。会長、それでは会場前方のお席に御移動をお願いしてよろしいでしょうか。それでは、会長から改めまして、御挨拶を頂戴したいと思います。

○会長：ありがとうございます。それでは改めまして、会長を仰せつかりました鷺田でございます。どうぞお付き合いのほど、よろしくお願い申し上げます。

私自身、図書館に大きく人生を動かしてもらった1人だというお話を、先ほど自己紹介の中で申し上げましたけれども、このつくば市の図書館は、県全体から見ると、本の個人貸出数1つ取っても突出して利用されている図書館です。本当に限られた面積、マンパワー、そして予算の中で、これ以上の働きをしていただいている図書館はないのではないかと考えています。外に出るとつくば市の者としてすごく褒められるので、本当に嬉しく思っています。

今、図書館は本を借りる場所から、知る場所、交流する場所、学びの場

所へと大きく変換期を迎えているというふうに残じております。つくば市の図書館がこれからも人と街をひらく場所になるように、皆様のお力をお借りしながら、共にこの協議会を進めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○事務局：ありがとうございます。

6 議題

○事務局：それでは、次第に沿って進めさせていただきます。つくば市立図書館条例施行規則第 25 条第 3 項の規定によりまして、会長は会務を総理し、協議会を代表するとありますので、この後の議事進行につきましては、会長にお願いしたいと思っております。それでは会長、よろしくお願いいたします。

○会長：ありがとうございます。それでは皆様、配付いただいております、図書館協議会次第をご覧ください。次のページから資料となっております。それでは議題に移ります。まず（１）令和 8 年度重点事業等について、事務局より御説明をお願いいたします。

○事務局：はい。資料 1 をご覧ください。重点事業は全部で 4 つに分けております。順に御報告させていただきます。

まず、図書館の整備事業となります。先ほど委員の御挨拶の中でもありましたが、中央図書館は開館から 36 年が経過しております。そのため、どうしてもアクセスや面積、所蔵の規模など、様々な御意見をいただいているところです。まずは、私たちは既存施設における課題を抽出、分析しまして、限られた面積や物、予算の中で、一体何ができるか、どのような方向で行っていくのかということを検討していくこととしています。また、利用者の利便性の向上と、多様な利用環境の提供のため、中庭にウッドデッキやパラソル、テーブルの設置を行い、飲食や歓談が可能である新

たな屋外スペースへとリニューアルしました。こちらは、2020年のつくば市図書館懇話会による提言書「つくば市図書館の将来構想 2020 ふれあいライブラリーパーク」を元に、交流と憩いの場、たまり場としての機能をより一層高めて、市民が快適に本を親しみ、心地よく過ごすため、図書館本来の価値を高める、魅力ある図書館サービスを展開していくために必要な機能や整備について、多角的な視点から検討を進めているところです。

私は図書館長でありながら、教育局の次長も兼務しております。教育局次長としては、学校給食と学校保健の担当となっておりまして、給食センターの者から、ぜひ食育のイベントを図書館で開きたいというお話がございました。ぜひ図書館を使っていただきたいということで、アルスホールと中庭を使いまして、令和9年1月10日に食育のイベントを実施予定となっております。講演会や展示物を見て聞いて、図書館で選書して展示したものを手に取ってもらい、御自身でも調べていただく。今回手始めに食育のイベントということになりましたが、図書館とそういった事業の一体化ができれば、市役所内部の様々な事業で図書館とのコラボレーションが可能になると考えております。予算に限りがございますので、ハード、設備の整備には限界がございます。しかし、転換期におかれている図書館として、今後多角的な使い方ができるよう尽力してまいります。

2番目に、中央図書館・分室・閲覧所の充実を挙げております。現在、分室の利用は多く、特に谷田部交流センター図書室の利用者がかなり多くなっております。地域ごとに特徴がございまして、例えば茎崎地区ですと、高齢者の利用が多く、時代小説が人気です。小野川地区では、芸術系の資料や児童書の利用が多く、蔵書も充実しています。谷田部及び筑波は、絵本が充実しており、読み聞かせの団体からも利用がございます。そういった特徴を加味しながら蔵書計画を立てているところです。また、中

中央図書館に所蔵がございます、10年以内に出版された資料の一部を分室に移管し、中央図書館の所蔵スペースを確保するなどして連携を行っていくことを考えております。

3番目ですが、図書館情報システムの更新ということで、ICタグという言葉を入れさせていただきました。わかりづらい部分もあるかと思いますが、洋服量販店にあるような、レジのところに商品を置くと、自動的に明細が表示されるようなシステムの導入を検討しております。導入の際には数億円がかかってくるような大きな事業ですが、私たち図書館としては導入したいということで、資料や検討事項を内部で準備しているところです。

最後、情報発信の強化ということで、従来から様々な情報発信の場を持ってきたのですが、さらに強化していければと思います。先ほどもお話をさせていただきましたが、市の事業とのコラボレーションということで、図書館だけでなく、その担当課による発信も合わせて行えば、さらなるPR活動になると考えております。リノベーションをした中庭を利用した事業、活用についても、さらに広報活動をして、皆様に利用していただけるよう努めたいと考えております。

今回4つの重点事業ということでお話をさせていただきましたが、昨年までこちらの協議会でもかなり御意見をいただいております、新図書館の計画というものがあったかと思います。本年度と来年度の2か年で予算をとり、基本構想の策定業務の委託を予定していたところなのですが、その新図書館について、こういった方向性で考えていくのか、一旦立ち止まって検討している状況です。そのため、新図書館について今後何を行っていくか、こういったものを検討しているかということについては、皆様に御説明ができない部分があるのですが、その方針が決まりましたら、委員の皆様には共有させていただければと思っております。

○会長：はい。令和８年度中央図書館重点事業としまして、図書館整備事業、中央図書館・分室・閲覧所の充実、図書館情報システムの更新、情報発信の強化について御説明いただきました。また、ハードの部分については、今年度、来年度は据え置き、まずはソフトの部分から、という御説明もいただきました。

それではここから、各委員の皆様から御意見、御質問を賜りたいと思います。なお、発言の際には挙手いただきまして、マイクを使用してお話しいただければと思います。この協議会で、今回初めて御出席された方もおられると思いますが、非常に活発に率直な意見が飛び交う会議となっておりますので、どうぞ御自由に御発言の方お願いいたします。ではどなたか、御意見、御質問等ございましたら、挙手の上御発言をお願いいたします。

○委員：御説明いただきましてありがとうございます。いくつか前提条件を確認させていただきたいと思います。今回配布いただいた「つくば市の図書館概要」は、私も事前にホームページで中身を拝見させていただいていましたが、今回の令和８年度中央図書館重点事業は、職員数 31 名で運営するということを前提とした計画となっているのでしょうか。

○事務局：はい、そのとおりです。

○委員：ありがとうございます。２点目の質問ですが、３番目の図書館情報システムの更新についてです。導入検討中ということでこれからのお話だとは思いますが、IC タグを導入するとした場合の予算の項目はどうなるのでしょうか。先ほど、備品費半減というショッキングなお話を聞いたばかりですが、図書資料の購入費とは別立てでやられるのか、それとも図書資料費の中で賄われるのでしょうか。

○事務局：はい。こちらの予算につきましては、予算の項目自体は別々となっております。図書費の予算、IC タグやシステムの導入費というのは、

別立ての予算項目となっております。ただ、中央図書館としての予算という意味では同じ予算ということになります。予算の配分に当たっては、市役所全体のお話もございますし、教育費の中ですと、学校など様々な予算が関係してきますので、その中の優先度合いを踏まえながら予算が決まっていくような形です。ぜひ私たちは予算をいただきたいと思っているのですが、難しいところでもございます。

○委員：そこはぜひ頑張ってくださいと思います。最後の質問ですが、情報発信の強化というところで、ホームページも確か昨年リニューアルされて、すごく見やすくなったなと思っています。その上で、SNSを活用した情報発信についての記載がなかったのですが、その点についてのお考えをお聞かせください。

○事務局：はい。こちらの資料には記載していなかったのですが、全ての事業をSNSに載せているわけではございません。ものによって、つくば市の公式SNSに載せたり、時として市長のXで話題にさせていただいたりして、様々な形で活用をしております。

○委員：わかりました。ありがとうございました。

○会長：はい。御質問いただきましてありがとうございました。他、ございますでしょうか。

○委員：はい。先ほど自己紹介の中で、この中央図書館に使いやすくなって欲しいと申し上げましたが、私はやはり一番の問題は混雑だと思っています。面積が狭い上に利用人数が多いので、私は週末に利用することが多いのですが、飽和状態と言いますか、すごく混雑していますので、長居できないことを残念に思っています。地域館が分室扱いになったので、今回、地域館の強化、繋がりを強化するということを挙げていただきましたが、ぜひお願いしたいと思います。期待しております。蔵書を中央から分散させていくということですね。とても良いことだと思っていますが、その

地域館の存在自体をアピールすることについて、何か計画や予定はありますか。先ほど館長が説明してくださったように、どの館にどのような特徴があるのかを知ってもらうような予定などがありましたら、お知らせいただきたいと思います。

○事務局：はい、今委員が仰ったことについて、これまで市役所内部の会議等でお話する機会は何度かあったのですが、全体に対してお話する機会がなかったな、という新たな発見がありました。場所ごとの特徴的な部分というのは、あくまでも分析の中だけで使っていただけではあったのですが、ぜひそういったものを活用して、今後アピールしていくことを考えていきたいと思います。ありがとうございます。また、先ほど分室の話をしていましたが、閲覧所もございます。今年10月から新たに1か所が開所しますが、市内の一部の小学校の図書室を閲覧所として、土日祝日に一般に開放しております。そういったところも多くの方に御利用いただき、地域のライブラリーとして活用いただくような仕組みづくりを今後も分室と共に進めていければと考えております。

○委員：御説明ありがとうございました。今の御質問に関連するのですが、私もずっと図書館のボランティアを含め色々関わってきた中で、各交流センター図書室が分室の扱いになって、分室と中央との連携が図られることが悲願だったので、大変嬉しく感じております。

今館長からお話が合ったように、それぞれの交流センターでどういった方々がよく利用されているか、蔵書の特徴などを御説明いただきまして非常によくわかりました。そういったことも踏まえまして、各交流センターで特色を出していくことを考えたときに、いろんなアイディアがあると思います。例えば青森の猫ノ図書館で、猫に関する本だけを集めて、猫の本であれば何でもあるよ、というぐらい特化した図書館が話題になったりしています。公共図書館で同じようにするのは色々問題があるかもしれま

せんが、突き抜けて交流センターの特色を出すことによって、中央にはないけれども、ここの交流センターだったら、この本だったら絶対あるとか、ある意味ニッチな部分を追求していく中で、利用者数を増やしていくとか、そういうアイデアもあってもいいのかなと思っています。そういったことを今後検討いただけるのか、お聞きしたいと思います。

それから、中庭のウッドデッキについて。木々が少し枯れかけていたり、出入りができなかつたりして中庭をなかなか活用できない状態でしたが、整備されたことによって非常に館内を明るく感じますし、平日だけではなく土日もちろんですが、あそこでお昼を食べながら談笑しているファミリーの方とか、いろんな世代の方が楽しんでいます。具体的にどういう活用をこれからしていきたいか、何か今の段階でアイデアがありましたら教えてください。

○事務局：はい、ではまずウッドデッキの方からお話しさせていただきたいと思います。ウッドデッキでは、飲食は、蓋がついている飲み物や、汁物以外の食べ物は大丈夫、ということになっておりますので、市民の方がリラックスしながらくつろげる場所だと考えております。今後の予定としては、11月7日に「ブックフェスティバル」を、同日開催のコーヒーフェスティバルと合わせて実施する予定がございます。今回、市の違う部門の課が主体となって行っておりまして、図書館の方でも様々な催しを行う予定がありますが、その中で音楽を流す催しもあると伺っております。図書館での音楽ですので、ある程度落ち着いた、心地のよい音楽になるのだと思いますが、音楽を聴きながら本を読んだり、飲み物を飲んだり、そういった活用方法が可能かと考えています。

また、まだ素案の段階なのですが、1月に予定している食育のイベントでは、学校給食会から一括購入しているパンなどの試食を行い、その近くで、おはなしボランティアの方などにお子さん達に読み聞かせを行うな

ど、これまで「ライブラリーピクニック」として屋外にテントを張って実施していたような催しを、今回もできるのではないかなと検討しているところですよ。

もう1点、分室等を特化させるということについてですが、今御紹介いただいた猫の本の図書館、私もちょっと行ってみたいとなりました。やはり公共図書館には多くの市民の方、色々な考えの方がいらっしゃいますので、1つに絞るというのはなかなか難しい部分ではあるのですが、展示スペースなど、ある程度場所を限定してそういったことを行うことは可能かと考えています。

また、先ほど10年以上所蔵している古い本を順次、計画的に移管していくということをお話ししましたが、古い本であっても、長く読み継いでいくような本なども多くあるかと思います。そういった古い本でも、レファレンスや展示などで御紹介していくとか、そういったスペースなどを設けてもいいのかなと、お話を伺いながら感じた部分もあります。いただいた御意見は、取り入れられるものからどんどん検討していきたいと考えています。

○委員：分室、分館の方でも、司書の方などスタッフに色々濃度があると思うのですが、レファレンスや展示など、そういったものもどんどん分館でできるようにっていくといいなと思います。よろしくお願いします。

○会長：御質問いただきましてありがとうございます。11月7日のブックフェスティバルについても、皆さん楽しみにされていると思いますので、また詳しく教えていただければと思います。他に御意見、御質問ございませんか。

○委員：ウッドデッキについて私も質問させていただきたいです。ユーザーの方からどのような御意見が来ているのか、また、その御意見を元に、今後何か取り組まれるような御予定がありましたら教えていただきたいと思います。

○事務局：はい、ウッドデッキの利用者からは、今のところ、とてもいい空間だとお褒めの言葉をいただくことが多く、私たちも大変嬉しく思っております。通常ですと17時で中庭は閉めてしまうのですが、日の入りと日の出の時刻を考慮して、8月末までは19時ごろまで延長して楽しんでいただけるようになっております。今年の4月にオープンしたばかりですので、今後様々な御意見が増えてくるかと思えます。いただいた御意見を踏まえながら、こちら準備をしていきたいと思っております。

○委員：重点事業について拝見し、懇話会提言書とも色々重なる部分があるなと思ひながら伺っていたんですが、その中で、このICタグの導入について少し違和感がありました。先ほど委員からも予算に関して御指摘がありましたけれども、ICタグの導入は色んな図書館で行われておられますが、このタイミングなのかな、と少し疑問に思いました。こういった文脈からこのICタグ導入のお話が上がってきたのかを教えてくださいたいと思います。

例えば、全体的にDXを進めているところで、業務の効率化を図るような文脈によるものなのか、あるいは貸出に大きな課題があつて、例えば利用者からのクレームが大変立て込んでいて、その解決のために導入を検討していらっしゃるのか。教えてくださいたいと思います。

○事務局：はい。まず業務の効率化が大きな部分にはなっています。現在、1冊ずつバーコードによる貸出、返却処理を職員が行っているのですが、ICタグを入れることで、自動貸出機で複数冊を一度に処理できますので、処理の迅速化が期待できます。蔵書点検作業の効率化も見込めるかと考えております。また、出入口のゲートと連動させまして、未処理の資料の持ち出しを防ぐという盗難防止の機能もございます。現在、特に土曜日、日曜日にはかなり窓口が混雑しています。貸出処理が迅速化されることで窓口の行列を解消し、市民の皆様の利便性を向上させることに繋がるかと思ひ

ます。あとは、地域資料や図書館独自で作成した資料のデジタルアーカイブ化や、延滞督促業務における AI の活用などを合わせて検討しているところ です。

○委員：ありがとうございます。導入費用はかなりかかるかと思います。また、懸念事項として、システム依存が高まるということ、IC タグの破損などによる維持コストがかかること、タグの読み取り精度の問題などが挙げられます。導入に反対というわけではないのですが、そういった懸念を感じましたのでコメントさせていただきました。

○会長：ありがとうございます。御専門の方の御意見ということで、今後進めていただく際に、ぜひ留意いただければと思います。

○委員：お話ありがとうございました。昨年、この図書館協議会で真岡市の図書館 monaca（モナカ）を見学させていただいたときに、やはり IC タグが入っていて、市民が自分でピッとやって持って行くシステムがあって驚いたのですが、ああいう形にしたいということなんでしょうか。

○事務局：その通りです。

○委員：でも私、図書館の職員の方とお話するのもすごく楽しみなので、今やられているような窓口との二刀流でやっていただきたいなと思います。若い人や子どもでそういうのが好きな人は良いけれど、御年配の方や交流を楽しみたい方のためにも、できれば両方立てて進めていただきたいと思います。高齢の方は、コンビニのセルフレジなどでもまだ苦手な方がいらっしゃるんですよね。ぜひ考慮していただけたらと思います。

○事務局：業務の効率化を図るようなこうしたものを導入する場合、窓口にいる職員の人数を減らすことは前提でございます。ただし、やはり市民サービスという観点から申し上げますと、レファレンスや窓口での対応があるからこそ、司書本来の業務が生かしていますので、今後ももちろん専門の職員を置きながら対応していきたいと考えております。

○委員：ありがとうございます。もう1点、情報発信の強化についてですが、例えば今日でしたら、新しい委員の方も御存知だとは思いますが、「ヨモッカ」を配布していただくとか、そういった小さなことが結構大事なかなと思うんですよね。ヨモッカはすごく大事な資料なのでもっと多くの方、多くの委員さんに知ってもらいたいなと思います。

あと「本押し」がすごくいい企画なのに、なかなかこう浸透していないなと思っていて。皆で何か知恵を出し合って、うまい具合に進めたいところですね。参加した子どもたちがSNSで、こんな面白い企画があるよと広めてくれるような。難しいですけども、ぜひ頑張ってくださいと思います。私たちも何か知恵があれば出せたらと思っております。

○事務局：ありがとうございます。今回ヨモッカは1部ずつ皆様のお手元に置かせていただいておりますが、ぜひ周りの方にも周知いただけるように、そういった部分では御用意をさせていただければと思います。

○委員：「こどもヨモッカ」は。

○事務局：今回はあいにく御用意がないのですが、今後そのようなことも考えていきたいと思っています。「本押し」についてですが、なかなか苦戦しておりますして、題材などが決まったのが夏休み直前でしたので、短い期間での周知というのが難しく、もう少し早めに開始して学校と連携が取ればもっと違うものができたかなとは考えております。今回、夏休みにすぐ入ってしまいましたので、学校のお子さんへの掲示の他、中高生が集まる場として、例えばコミュニティ棟1階やco-enの勉強スペースにチラシを置いたり、1人1台端末がありますので、御家庭に向けたデジタルチラシや、お子さんがお持ちのデジタル端末の方にもチラシを入れたりして周知を行っているところです。また、募集期間を2週間延ばしました。新学期が始まって、さらに学校と連携をして伸ばしていければと思っています。夏休み直前ですと、学校の先生方もお忙しい時期でもございましたので、次年

度以降、こういったことを行う際にはスケジューリングをしっかりとしていければと考えております。

○会長：よろしいでしょうか。御意見、御質問いただきましてありがとうございました。「本推し」については新学期に期待、ということで引き続きよろしく願い申し上げます。

○委員：3点ございます。まず1つ、重点事業2番の中央図書館、分室、閲覧所の充実についての最終行で、総合的な蔵書計画を作成していくとありますが、どういう計画を立てて、いつ頃策定されるのかというスケジュールが、もしわかれば教えていただきたいと思います。その計画に関しては事務方で作成されるのかなと思うんですが、それをこの委員の方で何かこう見ていく段階があるのかどうかというのを1つ伺いたいと思います。

あともう1点、ウッドデッキがやはりかなり目玉じゃないかなと思ってます。新しくリニューアルしたよ、というところで、市民に訴えかけやすいリソースになっていると思います。利用者の方に、今後持続的に満足度やニーズなどを聞いていくようなアンケートみたいなものは予定されているのでしょうか。

次に3点目ですが、ウッドデッキを今後活用していかれると伺ったのですが、例えば民間団体などに時間貸しのようなことはされる予定はあるのでしょうか。先ほどお話にあったとおり、設備投資などには数億かかるのか、予算は半減しているだとか、予算的にかなり厳しい状況にあって、大きな収入にはならないかもしれないですが、もしかしたら1つの収入源になるのかもしれないと思いました。公共施設という立場の難しさもありますし、例えば民間へ貸出を行うことになったとしたら、その応募の選定や手続きなどがどうしても事務方の業務にプラスになってしまうのですが。より開かれた場所にすることで、毎週末何かしらイベントなどをやっている状態になって、それが図書館に足を運ぶきっかけ、客寄せの1つになる

可能性があるのかなと思いました。

○事務局：ありがとうございます。ではまず私の方からウッドデッキについてお話しさせていただきたいと思います。満足度という部分につきましては、毎年度、利用者満足度調査を行っておりますので、ウッドデッキについて聞くような内容を設けていきたいと考えております。御意見をいただきながら、運用について考えていかなければいけないとは思っております。また、時間貸しについてですが、すみません、今まで発想もなかった部分でございました。市が主体で行う事業を想定していたところですが、今後勉強はさせていただきたいと思っております。

現在、当館にございますアルスホールは、ふだん講演会や音楽発表会などで貸し出す機会が多いのですが、先日実は結婚式のために利用された方がいらっしゃいました。ウェディングドレスも着て、皆の前で宣誓をして、そういった使い方もあるんだなと新しい発見がありました。図書館は単に図書を貸し出すだけではなく、様々なニーズがあるということで、広げていく部分ではあるのかなと思っています。今後の参考にさせていただければと思っております。ありがとうございます。

○事務局：蔵書計画に関する御質問についてですが、年内には計画を立てたいと思っております。ただ、古い資料が大変多くなっていますので、すぐに全ての資料を入れ替えるのではなく、何年かかけての作業になるかと考えています。

○会長：はい。御説明いただきましてありがとうございました。それでは、次の議題に進みたいと思いますが、よろしいでしょうか。議題（２）令和８年度事業計画について、御説明お願いいたします。

〔資料２ 事務局説明〕

○会長：はい。御説明いただきましてありがとうございました。令和８年度事業計画につきまして、御説明のとおり、管理係、サービス係共に大変多く

の事業を計画していただいております。

○委員：はい。10月に「視聴覚センター廃止」とありますが、視聴覚センターとは何ですか。すみません、初めて知りました。

○事務局：図書館の中に視聴覚センターという組織が設置されていまして、そこで視聴覚教材及びアルスホールの貸出を行っておりました。ただ、視聴覚教材の老朽化などに伴い、令和8年1月1日にそちらの貸出事業を廃止しました。ただ、アルスホールの方は大変好評で利用いただいておりますので、視聴覚センターではなく中央図書館がアルスホールの貸出業務を担うことになりました。10月から施行ということで、条例及び条例施行規則を変えて行うような形になります。

○事務局：補足ですが、アルスホールは全庁的に導入しております公共施設予約システムを利用しているのですが、そちらのシステムが10月から更新され、オンライン予約やデジタルマネーなどでの支払いが可能になります。したがって、アルスホールの貸出から支払いまでが、図書館に来なくてもオンラインで全部済ませることができるようになります。ただ、オンラインでの手続きがなかなか難しい市民の方もいらっしゃいますので、そういった方は従来どおり来館いただいて、現金でお支払いいただくことも可能ではありますが、合わせてそういったことも変更がある予定です。

○委員：わかりました。ありがとうございました。以上です。

○委員：はい。図書館福袋についてですが、これは大人も借りていいんでしょうか。実は私、色んな図書館の貸出カードを作ってイレギュラーに行われるこういった福袋形式のものをあちこちで借りています。つくば市の福袋はすぐなくなってしまうので、なかなか借りられないんですよ。すごく楽しみにしています。

○事務局：昨年度から大人向けの福袋も作り始めたところでして、大人でも借りていただくことができます。数はそこまで多くなかったのですが、今年

度はもう少し増やして2日間実施しますので、楽しみにしていただけたらと思います。ありがとうございます。

- 会長：他に御意見がないようでしたら、次の議題に移りたいと思います。資料3をご覧くださいながら、（3）令和7年度図書館運営上の指標に対する実績評価について、御説明をお願いいたします。

〔資料3 事務局説明〕

- 会長：はい。7項目について丁寧に御説明いただきました。御質問、御意見ございましたら、挙手の上、御発言をお願いいたします。

- 委員：御説明ありがとうございます。質問が2点ございます。1点目は、2－1来館者数についてですが、中央図書館に来館した延人数ということで、目標値は達成しているけれども、前年度に比べてやや減少があるということでした。これは、目標値の設定理由にも書かれているのですが、分室などに利用が分散されたからとお考えなんでしょうか。

もう1点、5－1レファレンス受付件数に関してですが、こちらは昨年度より大幅に増加しているように感じたのですが、利用者に何か声かけなどの働きかけをされたのか、お伺いしたいと思います。

- 事務局：来館者数については、「所蔵館以外への返却冊数」が増えていることから、中央図書館ではなく分室や閲覧所を利用する方が増えているのではないかと感じております。

- 事務局：レファレンス件数についてですが、レファレンスというのは、どこまでをレファレンスとしていいのか、カウント方法を定めるのがなかなか難しいと感じております。昨年度は案内に少し時間がかかったような、確かにレファレンスだと言えるものだけをカウントしていましたが、今年度は短時間でもカウントするようにしました。そのため、昨年度より件数が増えたのかなと思います。特に呼びかけなどはしていませんが、積極的に「どういう本をお探しですか」などお声がけして、そこからレファレンス

に繋がることもありますので、それが数値の上昇に繋がっているかなとは思います。

○委員：ありがとうございます。そうですね、分室やブックポスの御利用もあるでしょうし、後は電子図書館を利用されている方もいらっしゃるの
で、来館者数の数値だけを見てマイナスにとらえる必要はないのかなと感じ
ました。レファレンスの方についても、御回答ありがとうございます。
数値で判断するものでもないと言いますか、視点を変えて、どういう御質
問にどういう対応をしたのかなどの新しい観点から評価軸を設定してもい
いのかなと思いました。

○会長：ありがとうございました。ぜひ今後の検討材料としていただければと
思います。

○委員：2－2と2－3についてですが、図書館利用カード実利用者数と新規
登録者数、いずれも減少傾向にあるということでした。電子書籍が普及し
ているというのもあるのかもしれませんが、電子書籍も利用カードがない
と使えませんよね。なぜ減少しているのか、なぜ利用される方が減ってい
るのかというのは、どういった分析をされているのでしょうか。逆に、カ
ードを作っても本を借りる人が減っているというのは、どういうことなの
かなと。貸出ではなく閲覧する方が増えているということなのか。

○事務局：そうですね、なぜ利用されないかという原因を特定するのはなかな
か難しいところではあるのですが、図書館から皆様へのアプローチが必要
な部分ではあるのかなと思います。

○事務局：つくば市の人口は増えていて、分室や閲覧所など、図書館サービ
スを提供できる場所も増やしています。一方で、一定数リピーターはいらっ
しゃるのですが、新たに図書館を使ってくれる方がなかなか生まれてこ
ないという現状は、私どもも感じているところです。やはり、図書館の使
い方でしょうか。図書館に行ったら静かにしなければいけないのではない

か、とか。借りるつもりがなかった資料を新たに見つけて、発見が生まれるのが、図書館の1つの醍醐味でもあると思うのですが、そういったところのアピールや周知をさらに行って、少しでもカードの登録者などを増やしていけるよう尽力していきたいと考えております。

○委員：ありがとうございます。図書館が本を借りるだけの場所ではなくなってきていて、色んな側面が出てきているのが現状だと思うんですけども、ただやはり図書館は本があってこそその図書館なので、訪れる方には本に興味を持って、手にとって、借りて欲しいという想いが、利用者の1人としてもあります。色んなイベントや講演などを通じて、本をふだん借りない方が手に取ってくれるような仕組みづくりを期待したいと思います。

○事務局：ありがとうございます。様々なものを通して、本に触れる機会を私たちが作っていかないといけないのかなと感じております。

○会長：お話がありましたとおり、本の一覧性というのは、図書館の大きな利点の1つかなと感じております。

○委員：2点お伺いしたいのですが、その前に1点、前提条件を確認させてください。この資料を拝見して、ものすごく沢山の事業をやっているんだなと感じました。そこを踏まえての質問なのですが、例えば何か新しい事業を始めるにあたって、既存事業を見直すとかやめるとか、民間企業ではよく「断捨離」と言いますが、そういったことはされていますか。

○事務局：スクラップアンドビルドとか、事業の洗い出しと言われる部分かと思います。今まで事業をやめるということは具体的にはなかったかとは思いますが、先ほど予算の話もありましたし、人的リソースも限られている状況ですので、市民への効果、図書館機能への効果を見ながら、今後そういったものもデータを活用しつつ考えていかなければいけないことだと思っております。

○委員：わかりました。その上で2点、団体貸出と自動車図書館についてお伺

いします。団体貸出については、元々そういったサービスがあることは認識していたのですが、これは学校図書館に紐づいていたんですね、初めて知りました。私の妻が、子どもが小学生くらいのときに団体貸出でお世話になったのですが、これだけ環境が変化しているのに、目標値を3年前の2倍に設定しているのは厳し過ぎるのではないかと正直思いました。私が住んでいる周辺の学区ですと、小学校も中学校もPTAを止めています。全国的にも、PTAはもう止める動きになっていて、担い手を確保することが難しくなっていると思うんです。

ただ、お世話になって、団体貸出の良さも理解しているつもりです。例えば、団体貸出の価値を学校図書館だけではなく、保育園や幼稚園に広げたり、ブックモービル（自動車図書館）も関わってきますが、高齢者施設とか。そういった形で、視野を変えていただく。それでも難しければ、電子図書館も導入していたりするので、縮小又は運用の変更も御検討いただければと思いました。

もう1点、自動車図書館についてです。番号で言うと4-1、4-2に当たるのですが、昨年度の実績で、熱中症警戒アラートや雨によって運休になり利用数が減ったということなのですが、運行予定日だった日を勘案して件数を割り出していると思います。運休だった日を除いた数値ですか。それとも含んだ数値として出しておられますか。

○事務局：はい、まず今回の目標値は令和6年度に定めたものでして、その後、目標値は変えていません。目標値というのが3年ごとに定めることになっておりますので、目標の設定以降、どうしてもズレが生じてきてしまうのかなと思います。自動車図書館の数値については、実績値から数字を出しています。

○委員：実態に合わせた形で数値を割り出していただいた方がいいかと思います。ここから先が本題なのですが、今年は比較的暑い日が少ないので、熱

中症警戒アラートについては比較的マシだと思うのですが、中長期的に見たときに、今後アラートによる運休が増えていくと、利用機会の損失が増えていくことになると思います。これは御検討いただければと思うのですが、市民の方の生活動線に合ったところにステーションを設けていただきたいと思います。具体的に言うと、イオンモールやイーアスなど、明らかに人が集まるところに設置するのが望ましいかなと思いました。

今年2月に総選挙があつて、イオンモールつくばに期日前投票所が設けられていました。ホームページに載っていたんですが、期日前投票した人が63,200人くらい。そのうちイオンモールつくばで期日前投票した人は、4,835人いたそうです。人の動線が商業施設などを利用しているように見えますし、両者ともクーリングシェルターの認定を受けているんですよ。もしイオンモールやイーアスに自動車図書館が行くことになれば、例えば親子連れや高齢の方などが立ち寄ってくれて、利用実績にも繋がるかなと思います。もしかしたら商業施設と連携協定などを結んだりする必要があるのかもしれませんが、何か御検討いただければと思いました。

○会長：どうもありがとうございました。新しいアイディアも含め、今後の参考にぜひ取り入れていただければと思います。選挙会場についてのお話がありましたけど、県全体で見ても、期日前投票として選ばれた商業施設では、やはり投票数が非常に良い数字になっていましたので、御指摘のとおりかなと思いました。

○委員：はい。この夏休みに私感動したことがあつて、団体貸出に関連することなので発言させていただきたいと思います。岩手県に紫波町というところがあるのですが、そこは図書館をまちづくりの中心に置いて、まちづくりをしているところなんです。そこのホテルに泊まりたいと思っていたんですが、なかなか高額で手が出なかったところ、岩手県での宿泊に補助金が出る制度がありましたので思い切って行ってきました。駅前にあるホテ

ルんですが、そこで図書館の本をホテルの名前で借りられるような団体貸出をしていました。本をホテルのカウンターに返していいことになっていて、これまで色々な図書館を利用してきましたが、初めての制度だったので、すごいと思いました。つくば市の中央図書館も、すぐ近くにホテルがありますよね。つくばの面白みを知らせる上でもいいかなと思いました。

○委員：カードは要らないんですよね。そうですね。その宿泊施設で泊っている人が、泊っている間だけ利用する。学校の教室に棚があって、児童生徒がそれを読むようなことと同じ位置づけということですね。

○委員：はい。1泊しかなかったのですが。3冊借りました。

○会長：御体験に基づく情報提供をどうもありがとうございます。

○委員：2点ほどございます。まず、2番の新規登録者数、利用者数についてのお話が先ほどありましたが、市の人口が増加している一方、なかなか利用に結びつかないというのが、非常にもったいないと思っております。目標値の設定理由のところには、利用者へのPRに注力したいようなことを書かれていたと思いますが、私も昨年、つくばに戻ってきた際に、転入手続きで学務課や幼児保育課をまわったりしました。市民課はじめ、転入に関する庁内各所の窓口とか、転入時に渡される封筒とかに何かチラシ1枚でも入れていただけたらいいのかなと思います。私が今経営している保育園にも転入されてきた方が多くいらっしゃいます。初めてのつくばで、お子さんと楽しめる居場所を一生懸命探している方が多い気がします。転入してこられたファーストタッチのところで、図書館は本の貸し借りだけでなく、居場所としても使っていいんだよ、こういう絵本の貸出もあるよ、というような御案内があったら、「ちょっと行ってみようかな」という気持ちになれるのではと思います。

もう1点が質問なのですが、6－1団体貸出の利用回数の数値を出して

いただいていて、評価欄には新規団体の増加に繋がたいとありますが、現段階の登録されている団体数は把握されているのかなと気になりました。先ほどありましたとおり、PTA の解体だとかで利用団体が減ってきている中で、私たちの保育園も登録させていただいているのですが、例えばどういう団体がいるのか、もう少し具体的などころが見えてくると、より利用数を増やすことに繋がるのではないかと思います。

○事務局：はい、団体として登録されているのは確かに学校が多いのですが、保育園や幼稚園などにも登録いただいて、読み聞かせの絵本や紙芝居などを借りていただいております。もう少し PR に努めたいなと思っているのですが、なかなかどう進めていけばいいか悩んでいるところです。何かいいお知恵がありましたらぜひ教えていただければと思います。

○会長：はい。御議論いただきましてありがとうございました。では、次の議題に進めたいと思います。（４）蔵書点検の実施結果について、御説明よろしく願いいたします。

〔資料４ 事務局説明〕

○会長：蔵書点検の報告、そして不明本の対策まで御説明いただきました。

○委員：私は小野川交流センター図書室をととてもよく使うんですけども、子どもの本が非常に多くて、レイアウトもいいですね。不明本となるのは、具体的にはどのようなジャンルなのでしょうか。

○事務局：はい、資料の 14 ページに小野川交流センター図書室の年度別比較の表がございますが、一般図書が圧倒的に多くなっています。令和 6 年度には 8 冊だったものが、令和 7 年度は 23 冊も不明になっているので、職員による除籍業務の中でデータ処理にミスがあった可能性もあります。ただ、小野川交流センター図書室のレイアウトを考えると、一般図書の位置がカウンターから少し遠いところにありますので、もしかすると持ち去りがしやすい環境なのかもしれません。少し冊数の増加が多いような気がし

ますので、点検業務作業上のミスがないよう心がけるようにしているところ
です。

○委員：はい、今小野川のレイアウトを思い浮かべたときに、確かにあそこは
完全に見えなくなるんですよね。少し書架を斜めにするとか、もしかした
ら何か対策をした方がいいかもしれませんね。

○委員：ありがとうございました。事前にこの資料を拝見して衝撃を受けたの
が、筑波交流センター図書室の視聴覚資料が、7点中7点不明になってい
る点です。

○事務局：そちらは、利用者による持ち去りというよりは所在が不明になって
しまっている状況です。筑波交流センター図書室で所蔵している視聴覚資
料は、ほとんど使われていないビデオテープしかございませんでしたの
で、職員の方で処分したのではないかとと思われるのですが、その除籍の処
理がきちんとされていなかったためにデータ上、不明資料となってしまっ
ていると思われます。ずっと継続して調査しているのですが、なかなか見
つからず表には載ってきてしまったところです。経年劣化もあるでしょう
から、もう資料として視聴することは難しいものだとは思いますが、そうい
う意味ではこちらの表に載せるべきものではなかったかもしれませんが、
資料としてはこういう形になりました。

○委員：わかりました。7点中7点が盗難だったらどうしよう、と正直思った
のですが、理由を聞いて安心しました。先ほどの重点事業のところで IC
タグの議論もありましたが、この資料で筑波交流センター図書室の7点中
7点が不明と拝見しまして、盗難防止という観点から、ICタグを入れな
いとまずくないですか、と正直思いました。けれど、そういうことではな
いということであれば。不明本がゼロにできないのはわかっているのです
が、業務効率化だけではなく、そういう盗難防止の観点からも導入につい
て少し御検討いただければと思いました。

○会長：内部での事務的なところも含め、今後の対応について、また御検討いただければと思います。次の議題に進んでもよろしいでしょうか。（５）令和７年度利用者満足度調査の実施結果について、御説明お願いいたします。

〔資料５ 事務局説明〕

○会長：ありがとうございました。ただいま御説明いただきました、令和７年度利用者満足度調査の実施結果について、御意見、御質問ございませんでしょうか。

○委員：回答方法、回答者年代についてなのですが、インターネット回答が大半を占めるのに対して、１０代２０代、若い方の回答が少ない点が課題かなと感じました。御負担になってしまうのは承知なのですが、満足度調査とは別に、１０代２０代向けに対して別途アプローチしてアンケートをとってもいいのかなと思います。そうすると、より広い年代の方の御意見を反映してサービス提供ができるのではないかと思います。個人的には、１０代２０代にアンケートをとることによって、図書館資料を借りる以外の、おそらく学習利用を目的とする方の回答が増えるような気がしております。御検討いただければと思います。

○会長：はい、御意見いただきましてありがとうございました。今後の参考にしていただければと思います。

○委員：経年が見えていない中で恐縮なのですが、回答者の居住地について、今回はつくば市在住の方が９７％ということだったのですが、過去の傾向としても大体同じですか。

○事務局：そうですね。つくば市の方が一番多く、大体同じくらいの割合になります。

○委員：つくばって結構ビジネスでいらっしゃる方とか、色んな用途の方がいらっしゃるの、それで少し図書館に立ち寄ったりする人とかいないのか

など少し思ったんですよね。私の場合、旅行に行くと大体図書館に行って、どんな図書館なのか見て来るんですよ。つくば市の図書館なので、つくば市民に対するサービスを行うものというのは前提ではあるのですが、市外の方に対するサービスをすると、めぐりめぐって市民にとってメリットがあることもあるのかなと、そんな感想を持ちました。

○委員：先ほど回答者の年代の話がありましたが、10代20代の回答が少ないのではないかという内容は前回の協議会でもお話しされていたんですよね。今回、アンケートをされるときに工夫されたことなどはありましたか。あるいは、アンケートの仕方として何か改善されましたか。せっかくの意見が反映されていないのでしたら、ちょっと残念かなというふうに思ったんですけれども、その点はいかがですか。

○事務局：そうですね、10代20代の方に向けて特にアプローチするということは、ちょっとできていなかったかと思います。また、実施の時期が前回からずれているので、市民の皆様も忙しい時期であったのかな、という部分もありますので、今後の課題とさせていただきます。大変申し訳ありません。

○委員：ぜひぜひ可能になるようにお願いしたいと思います。

○委員：どうもありがとうございます。別紙にあるアンケート用紙についての意見なのですが、私も毎回アンケートを書かせていただいているんですけど、質問項目の中にもし入れられるのであれば、家族構成を入れたらいいと思います。例えば主婦であるとか子どもが何人いるとか。あと、職業もあった方がいいのかな、と思っています。どういった職業をしているのかによって、借りる本や利用頻度、来館の目的が変わってくると思います。どういったものを図書館に求めているとか、どういった使い方をしたいとか、そういったものがより見えてくるのかなと思うのですが、その辺はいかがでしょう。逆に聞きづらいような項目なのではないでしょうか。過

去に図書館の専門の本を読んだときに、図書館のアンケートでそういった項目を聞いているケースもあったので、絶対駄目というわけではないかと思います。会社員とか自由業とか、そういった形の項目であればいいのかなと思ったのですが。

○事務局：貴重な御意見ありがとうございます。アンケートの内容につきましては、先ほどお話しした中庭の満足度なども含めて中身は変えていきたいと考えています。回答者自身について細かく聞いていくことに関しては、色々な観点から検討しなければいけない部分もありますので、総合的に検討していきたいと思います。

○会長：それでは、議題を含めまして、最後に「その他」となっておりますが、お二方から一言ずつ、御意見、御感想をお願いしたいと思います。

○委員：皆様の積極的な意見の交換に、ちょっと気後れしてしまっておりました。私は当事者としては、市民、学校関係者という立場でお話を伺っていたのですが、図書館の利用率が私の中でちょっと下がってきていたのは、一番大きい要因は新型コロナでした。私はもっぱら中央図書館か、勤務地に近い谷田部交流センターの図書室を使っていたのですが、コロナで臨時休館になってしまったときに、何かちょっと図書館に行けなくなってしまうんですね。自分自身が積極的に使っていたけど、なかなか使えなくなってしまうなと思っていたので、今日お話を聞きながら、改めて考える機会になりました。

それから、学校関係者という意味で申し訳ないなという気持ちで聞いていたのが、自動車図書館です。今現在も色々お世話になっているところなのですが、やっぱり中にいる職員がどれだけ繋げられるかというのが非常に大きいところかと思います。一昨日、職員会議の中で自動車図書館の利用について指導したところだったのですが、前に勤務した学校は、余りにも利用する子どもが多すぎて、自動車図書館の停車時間の中で、どう子ど

もたちを捌いたらいいのかと苦勞した思いがありました。学校の事情と決められたシステムの中ですり合わせをしながら、子どもたちが本を手にする機会を増やしていくことを考えていかなければならないなと思いました。

もう1点、冒頭の御挨拶の中で不明本の話をしたのですが、ここの図書館でもやはり不明本があつて、様々な対策をされていて、システムの問題だったり、それからもしかしたら持ち去りのような悪意のある人、そういったことが原因なのかもしれないとお話をされていました。私としては、利用者の方へ何かアピールをしてもいいのかなと思いました。私が学校で携わったときには、「こういう本がないんです」という内容でポスターを作りました。意外と「家にありました」とか「それ見たことがあります」みたいな感じで大分返却されて、作るときはすごく大変だったのですが、アナウンスをすると、意外と気にしてくれる人がいるんだなと感じました。これはもうかなり前に行った取り組みなので、参考になるかどうかかわからないのですが、色んな視点からの対策ができそうな気もするな、と思いながらお話を聞いていました。私も勉強して、次回も出席させていただきたいと思います。ありがとうございました。

○委員：今日はありがとうございました。新しく公募で委員になられた皆さんの、非常に図書館に対して愛情を持って、一生懸命資料を読んでこられて、考えを持って発言されている様子に圧倒されていたというのが正直なところです。毎年第1回の資料というのは、大体このようなパターンで組まれているのですが、こんなに色んな視点からの意見や質問が述べられていて、逆に今まで自分はどうかこの資料を見ていたのかしら、と少し反省しました。今日はとても勉強になりました。イベントや他の部署の方とコラボして、やることを広げていこうという考え方を図書館の皆さんが持たれているっていうのも、すごく楽しみだなあと思って聞いておりました。

それから、2、3日前の新聞に本押しコンテストについて載っていましたね。これは少し輦蹙（ひんしゆく）を買うかもしれませんが、私が小学校で勤務していた頃には、小学校の教科書の中にポップや帯を作るというような内容がありました。一生懸命な先生は子どもたちを図書室に連れて行って、本を選ばせて、帯とかポップを書かせていたのですが、それが本当によくできていたんです。それを校長の私の方に出してもらって、図書室や、玄関から入ってすぐのオープンスペースにそれを飾らせてもらうということをやっていました。小学生でもいいものを作ることができていたので、小学生の部門を作っていただけたらいいなと思って聞いていました。

○会長：本日は皆様から非常に活発な、そして貴重な御意見、御提案を賜りまして誠にありがとうございました。以上で議事を終了いたしまして、事務局に進行をお返しいたしたいと思います。ありがとうございました。

7 閉会

○事務局：はい。会長、議事進行をありがとうございました。また、委員の皆様、長時間にわたり御審議いただきまして、誠にありがとうございます。以上をもちまして、令和8年度第1回図書館協議会を閉会させていただきます。ありがとうございました。

令和 8 年度第 1 回図書館協議会次第

令和 8 年（2026 年） 8 月 21 日（金）

午後 2 時～

つくば市立中央図書館 2 階集会室

1 開会

2 委嘱通知書交付

3 教育局長挨拶

4 委員及び職員紹介

5 会長選出、会長挨拶

6 議題

- (1) 令和 8 年度重点事業等について
- (2) 令和 8 年度事業計画について
- (3) 令和 7 年度図書館運営上の指標に対する実績評価について
- (4) 蔵書点検の実施結果について
- (5) 令和 7 年度利用者満足度調査の実施結果について
- (6) その他

7 閉会

令和8年度 中央図書館重点事業

(1) 図書館整備事業

開館から 36 年が経過した現行の中央図書館は、施設面積や所蔵資料数が本市の人口規模や利用実態に対して不足しており、多様化する市民ニーズに十分対応できていないことが課題となっています。このため、まずは既存施設における課題を体系的に抽出・分析し、限られたリソースの中で図書館機能をさらに充実させるための検討を行います。

一方で今年度、利便性の向上と多様な利用環境の提供に向け、中庭へのウッドデッキやパラソル付きテーブルの設置を行い、飲食や歓談が可能な新たな屋外スペースへとリニューアルしました。

今後は、この整備されたスペースを最大限に活用しつつ、2020 年に図書館懇話会から出された提言書をもとに、市民の「交流と憩いの場（たまり場）」としての機能をより一層高め、市民が快適に本に親しみ、心地よく過ごすための、図書館本来の価値を高める魅力ある図書館サービスを展開していくために必要な機能や設備について、多角的な視点から検討を進めていきます。

(2) 中央図書館・分室・閲覧所の充実

令和 7 年 1 月の条例等の改正に伴い、中央図書館と連携する 4 つの交流センター図書室（谷田部、筑波、荃崎、小野川）が「分室」の扱いとなりました。分室は古い資料や限られた蔵書数が課題となっているため、今後は蔵書構成の見直しと充実を図ります。また、中央図書館、分室、閲覧所が一体となってサービス品質を向上させるため、総合的な蔵書計画を策定していきます。

(3) 図書館情報システムの更新

利用者の利便性向上と業務効率化を図るため、IC タグの導入をはじめとするデジタル化等について検討します。

(4) 情報発信の強化

ホームページや市報等による既存の発信に加え、「つくスマ」アプリの活用や

市事業とのコラボレーションにより情報発信をさらに強化します。これにより、館内でのイベントやワークショップなど多彩なプログラムを提供し、利用者の満足度向上と層の拡大を図り、図書館の存在意義を高めます。また、リノベーションを経て令和8年4月にオープンした中庭（屋外ウッドデッキ）の活用についても検討していきます。

令和8年度事業計画（事業・業務予定表）

つくば市立中央図書館

業 務 予 定			
月	管理係	サービス係	その他
4月	・図書館整備事業（通年） ・アルス協議会（毎月1回） ・アルスホール条例施行規則改正検討	・団体貸出、相互貸借、インターネット予約による遠隔地貸出サービス（ぶっくびん）、図書返却事業（通年） ・出前講座（通年） ・館内見学、職場体験受入れ（通年） ・不用図書の選定、梱包（通年） ・「としよかんの本」春号発行	・ホームページ掲載（随時） ・つくスマによる情報発信（随時）
		・小学校等新入生新規カード作成 ・学校司書研修（12日） ・ライブラリーピクニック（16日・17日） ・インターンシップ受入決定 ・蔵書点検準備	
5月		・新聞廃棄（廃棄年度3・4月分） ・電子図書館学校連携用パスワード配布	
6月	・茨城の図書館調査・統計作成		・特別整理期間（9日～12日） ・中央図書館蔵書点検実施（9日～12日）
7月	・第1回つくば市域連携協議会	・新聞廃棄（廃棄年度5・6月分）	・第2回本推しコンテスト作品募集開始（1日） ・学校訪問ブックトーク希望校募集・準備 ・図書館マスター講座（23日・24日） ・インターンシップ受入れ ・中学生職場体験受入れ ・「こどもヨモッカ」第25号発行 ・「としよかんの本」夏号発行
	・「つくば市の図書館概要」発行 ・第1回図書館協議会	・システム関係定例会議	・学校訪問ブックトーク希望校募集・準備 ・インターンシップ受入れ ・中学生職場体験受入れ ・「ヨモッカ」第25号発行 ・ストーリーテリング会
8月		・新聞廃棄（廃棄年度7・8月分）	・自動車図書館後期日程通知（小学校・義務教育学 校・保育所・児童館） ・第2回本推しコンテスト結果発表（16日） ・学校訪問ブックトーク（～12月） ・「としよかんの本」秋号発行
9月	・つくば市アルスホール条例施行 ・つくば市アルスホール条例施行規則施行 ・視聴覚センター廃止 ・アルスホールオンライン予約開始		
10月		・新聞廃棄（廃棄年度9・10月分） ・システム関係定例会議	・次年度自動車図書館巡回コース及び日程検討 ・第1回つくばブックフェス（7日） ・第2回本推しコンテスト表彰式（7日） ・科学フェスティバル出展（28日）
11月		・次年度購入雑誌検討（外国語）（～3月）	・ぬいぐるみたちのおとまり会実施（10日～13日） ・「こどもヨモッカ」第26号発行
12月		・新聞廃棄（廃棄年度11・12月分） ・次年度購入雑誌検討（日本語）（～3月）	・としよかん福ぶくろ実施（9日・10日） ・「としよかんの本」冬号発行
1月	・次年度会計年度任用職員募集及び選考（予定）	・雑誌配架場所変更	・特別整理期間（9日～12日） ・分室蔵書点検実施（9日～12日） ・ファーストブック講座募集 ・公共施設向け不要図書リサイクル事業（12日） ・「ヨモッカ」第26号発行
2月	・第2回図書館協議会 ・第2回つくば市域連携協議会		・次年度前期自動車図書館日程通知（小学校・義務 教育学校・保育所・児童館） ・小学校等新入生新規カード作成、取りまとめ通知 ・ファーストブック講座実施（13日、14日）
3月	・次年度ボランティア募集 ・利用者満足度調査	・新聞廃棄（廃棄年度1・2月分） ・システム関係定例会議	

【展示テーマ】「星新一生誕100年ショートショートと短編」（5月～6月） 「ちよっとだけこわい話」（7月～8月）
「2021-2025貸出ベスト100」（9月～10月） 「お茶とお菓子」（11月～12月） 「赤の本」（1月～2月）
「大人も楽しい絵本」（3月～4月）
【その他展示】 難民（5月） 男女共同参画事業（6月、11月） 認知症（8月～9月） 自殺予防（8月～9月、2月～3月）
認知症（筑波大学 2月）（国際女性デイ 3月） 大人の推し本
【図書館おはなし会】おはなしぶんぶん（赤ちゃん向け）木曜日及び金曜日 各曜日1回ずつ（※8月は除く）10：30～10：50、11：00～11：20
【ボランティア活動】①地域資料ボランティア（毎週水曜日）②修理ボランティア（毎週火・水曜日） ③音訳ボランティア（月間3回）
④点訳ボランティア（毎月第3木曜日） ⑤配架ボランティア（随時）
⑥おはなしボランティア おはなし会（毎週土曜日 15：00～15：30）
・パネルシアターかくれんぼ公演 7月5日（日）10：30～11：10 ・グループスイミー公演 10月25日（日）11：00～11：40（予定）
⑧児童サービスボランティア（5月27日（水）、9月30日（水）、11月25日（水）、2月24日（水）、その他随時）
⑨地域文化ボランティア ・本好きのためのゆるっとトークルーム（第1土曜日10：00～） ・おとなのためのブックトーク（第3土曜日10：00～）

令和7年度指標に対する実績評価

指標の目標年度 令和8年度
評価期間 令和6年度～令和8年度

※1「分室」:谷田部・筑波・小野川・荃崎交流センター図書室
※2「閲覧所」:研究学園・みどりの南小学校図書室

1 市民サービスに必要な資料を確保し、提供することに関する指標（9項目）

No.	目 標 指 標	指標の説明	目標値の設定理由	参考実績値			実績値 令和7年度	目標値	達成度	評価
				令和4年度	令和5年度	令和6年度				
1-1	所蔵資料点数	中央図書館(自動車図書館を含む)、分室(※1)、閲覧所(※2)等で所蔵する資料(視聴覚資料・雑誌を含む)の点数。電子書籍は除く。	所蔵資料の収容スペースが限界に近いため、現状の実績値を維持することを目指す。	486,240点	492,183点	501,905点	506,069点	490,000点	103.3%	令和8年10月からのさくら小学校図書室の一般開放に伴い、閲覧所の配置資料が約4千冊増加した。中央図書館の所蔵スペースは限界に近いため、今後も資料の受入及び除籍により書架の充実を図っていく。
1-2	受入資料点数	中央図書館(自動車図書館を含む)、分室、学校図書室等で受入した資料の点数(視聴覚資料・雑誌を含む)。電子書籍は除く。	蔵書の入替えにより、書架の質を向上させる。	24,020点	26,600点	31,920点	33,071点	28,000点	118.1%	中央図書館、移動図書館で受入点数が増加しており、目標達成に至っている。令和7年度は200万円の寄付があり、児童書の購入に充てることができた。図書館内の所蔵スペースは逼迫しているため、今後も受入と同時に除籍を行っていくことで蔵書の充実を図っていく。
1-3	個人貸出点数	中央図書館(自動車図書館・配本所を含む)、分室、閲覧所等で個人へ貸出した資料の点数(視聴覚資料・雑誌を含む)。電子書籍及び団体貸出は除く。	利用者の多様な要求に応えるよう努め、貸出の増を図り、図書館サービスの充実を目指す。令和元年度から令和4年度の増加点数(約53,000点)を考慮し、令和5年度の実績値から算出した。サービスポイントの新設や人口増から、今後も増加が見込まれる。	1,481,648点	1,498,017点	1,451,468点	1,427,307点	1,550,000点	92.1%	前年度と比較して約2.4万冊減少した。特に中央図書館における減少幅が大きく、昨年度から約4.5万冊減少している。 一方、谷田部、筑波、小野川交流センター図書室、研究学園小学校図書室では増加した。筑波交流センター図書室では、前年度3か月の休室期間があったため、以前の水準に戻ったと言える。研究学園小学校図書室においては、約8千冊(令和6年度)から約1.3万冊(令和7年度)まで増加しており、閲覧所に対する認知度が上昇した可能性がある。
1-4	視聴覚資料貸出点数	CD・DVD・VHSビデオ等の視聴覚資料の貸出点数	近年動画・音楽配信サービス等の普及が進んだためか、著しく減少している。新型コロナウイルス感染症流行前の水準(約70,000点)に戻すことを目標とする。令和7年1月から貸出期間が1週間から2週間に変更になるため、その影響を注視していく。	52,270点	50,195点	46,651点	40,118点	70,000点	57.3%	令和7年1月から視聴覚資料の貸出期間が2週間に延長されたが、減少している。要因として、動画配信サービスが普及したことによるニーズの変化も考えられる。引き続き魅力ある資料の選定に努めていく。
1-5	市民一人当たりの貸出点数	中央図書館(自動車図書館・本庁舎コミュニティ棟・かとりだい交流館を含む)、分室、閲覧所等で個人へ貸出した資料の点数(1-3 個人貸出点数)を9月1日現在の常住人口で除して算出した、市民一人当たりの貸出点数	人口20～30万人都市の平均値5.06点(「日本の図書館2022」)を考慮し、現状維持の上、やや増加させるものとして目標値を設定した。	5.9点	5.9点	5.6点	5.4点	6.0点	90.7%	市の常住人口は増加しているが(令和7年9月1日時点:262,363人、令和6年9月1日時点:259,059人)、個人貸出点数は減少している。引き続き、図書館サービスの向上と魅力ある資料の選定に努めていく
1-6	電子図書館へのアクセス件数	電子図書館へのアクセス件数(学校利用を含む)	令和6年6月に市内児童生徒約23,000人に対して電子図書館用のIDパスワードを配布したため、著しく増加することが見込まれる。令和6年9月～11月の平均は約17,000件/月。20,000件×12か月を目標とする。	21,296件	31,836件	173,169件	147,642件	240,000件	61.5%	令和6年6月に開始した学校における電子図書館利用促進事業により、アクセス数が飛躍的に増加しているが、令和7年度は令和6年度から約3万件減少している。継続して利用してもらえるよう、魅力ある資料の選定や資料紹介、授業利用のサポートなどを進めていく。
1-7	電子書籍資料所蔵点数(閲覧可能点数)	電子図書館で閲覧可能な電子書籍の点数(年度末時点での有効点数)	中央図書館における所蔵資料の収容スペースに限界があるため、電子書籍の充実を図ることで図書館サービスの充実を目指す。また、非来館型サービスを提供することにより利用者の利便性の向上を図る。	1,468点	3,553点	4,864点	6,240点	5,000点	124.8%	令和7年度は、例年以上に予算を確保し、コンテンツを増加させることができた。

No.	目 標 指 標	指標の説明	目標値の設定理由	参考実績値			実績値 令和7年度	目標値	達成度	評価
				令和4年度	令和5年度	令和6年度				
1-8	電子書籍資料 貸出点数	電子書籍の貸出点数(学校利用を含む)	令和6年6月に市内児童生徒約23,000人に対して電子図書館用のIDパスワードを配布したため、著しく増加することが見込まれる。令和6年9月～11月の平均は、約4,500点/月。5,000点×12か月を目標とする。	6,586点	13,164点	46,457点	50,936点	60,000点	84.9%	令和6年6月に開始した学校における電子図書館利用促進事業により、貸出点数が飛躍的に増加した。令和7年度は、電子図書館へのアクセス件数(1-6)は減少したが、全体の貸出点数が増加しており、1人当たりの貸出点数が増加していると言える。
1-9	電子書籍資料 閲覧点数	電子書籍の閲覧点数(学校利用を含む)	令和6年6月に市内児童生徒約23,000人に対して電子図書館用のIDパスワードを配布したため、著しく増加することが見込まれる。令和6年9月～11月の平均は、約29,000点/月。35,000点×12か月を目標とする。	16,600点	32,033点	292,861点	237,969点	420,000点	56.7%	令和7年度は令和6年度から約5万点減少している。継続して利用してもらえるよう、魅力ある資料の選定や資料紹介、授業利用のサポートなどを進めていく。

2 市全体へのサービスに関する指標（8項目）

No.	目 標 指 標	指標の説明	目標値の設定理由	参考実績値			実績値 令和7年度	目標値	達成度	評価
				令和4年度	令和5年度	令和6年度				
2-1	来館者数	中央図書館に来館した延人数	新型コロナウイルス感染症流行前の実績(令和元年度: 約560,000人)を考慮し、増加させることを目標とする。一方、サービスポイントが増加したことに伴い、利用が中央図書館以外に分散することが考えられる。	478,875人	455,178人	554,215人	550,168人	500,000人	110.0%	目標値は達成しており、前年度に比べやや減少しているが、新型コロナウイルス感染症流行前(令和元年度: 約56万人)の水準に戻りつつある。 ※令和5年度は、入館者カウンター機器の故障により、46日間計測不可。
2-2	図書館利用カード 実利用者数	1年間に図書館利用カードを利用して資料を借りた人数(1人の人が複数回利用した場合は1人と計算。団体貸出を除く)	平成30年度以降、30,000人前後で推移している。市民の図書館利用促進に努める。	30,326人	31,111人	30,891人	30,770人	35,000人	87.9%	令和6年度、令和7年度と徐々に減少している。
2-3	新規登録者数	新たに図書館利用カードを作成した人数	毎年度6,000人前後で推移している。転入者や図書館未利用者等に対するPRに努め、図書館利用者を増加させていく。	6,820人	6,826人	6,467人	6,105人	7,000人	87.2%	減少傾向にある。市の人口は増加しているため、さらなる新規利用者の獲得に努めたい。
2-4	所蔵館以外への 返却冊数	所蔵館(中央図書館、自動車図書館、分室、学校図書室)以外に返却された図書資料の冊数	サービスポイントや自動車図書館ステーションの増設に伴い、増加傾向にある。令和5年度実績値の約1割増を目標値とする。	159,776冊	167,733冊	162,264冊	175,570冊	185,000冊	94.9%	令和7年度は前年度から約1.3万冊増加していることから、利用者の利便性の向上に繋がったと考える。
2-5	ブックポストへの 返却冊数	各ブックポストに返却された図書資料の冊数	サービスポイントや自動車図書館ステーションの増設に伴い、増加傾向にある。令和5年度実績値の約1割増を目標値とする。	37,112冊	58,500冊	70,948冊	83,966冊	65,000冊	129.2%	令和6年度と令和7年度を比較すると、すべてのブックポストで利用件数が増加している。特に、かとりだい交流館のブックポストの利用件数が約3,000件増加している。つくばエクスプレス沿線地区に居住する市民の利用が増加していると考えられる。
2-6	予約件数	中央図書館、自動車図書館、分室及びホームページからの予約受付件数	平成30年度から4交流センター図書室の在架資料が予約できるようになり、大きく増加した。近年は図書館ホームページからの予約等、インターネットサービス全般の利用が拡大傾向にある。サービスポイントの増設によりさらに増加することが見込まれる。	180,325件	208,444件	219,813点	213,092点	230,000件	92.6%	予約件数は昨年度よりやや下がった数値となったが、目標値の92%は達成している。今後、在架資料の予約等の実施について検討し、魅力ある資料の選定に努める。
2-7	図書館ホームページ へのアクセス件数	図書館ホームページへのアクセス件数	令和5年度実績値の約1割増を目標値とする。令和4年度以降、インターネットサービスの利用拡大と電子図書館サービス(令和4年10月開始)の影響を受け、急速に増加している。	580,449件	825,729件	899,478件	954,687件	900,000件	106.1%	令和7年度にホームページを全面リニューアルし、見やすさ、わかりやすさが大幅に向上したことで、アクセス件数が上昇したと考えられる。目標値は達成したが、引き続きアクセス数の増加につながるよう情報発信を行っていく。

No.	目 標 指 標	指標の説明	目標値の設定理由	参考実績値			実績値 令和7年度	目標値	達成度	評価
				令和4年度	令和5年度	令和6年度				
2-8	図書館情報紙の発行回数	市民向けの図書館情報紙(「ヨモッカ」「こどもヨモッカ」「としょかんの本」「パスファインダー」等)の発行回数	「ヨモッカ」「こどもヨモッカ」(年2回)、「としょかんの本」(年4回)、パスファインダー(不定期。年2回程度)を発行・改訂することにより、図書館や資料に対する市民の理解と関心を高める。	7回	18回	10回	9回	10回	90.0%	令和7年度は、図書館情報紙「ヨモッカ」を2回、「こどもヨモッカ」を2回、所蔵資料の紹介紙「としょかんの本」を4回、テーマ別に資料の調べ方や参考資料を紹介する情報紙・パスファインダーを発行した。引き続き、市民に親しまれる情報紙を定期的に発行し、図書館の利用促進を図る。

3 高齢者、障害のある方及び外国の方へのサービスに関する指標（5項目）

No.	目 標 指 標	指標の説明	目標値の設定理由	参考実績値			実績値 令和7年度	目標値	達成度	評価
				令和4年度	令和5年度	令和6年度				
3-1	大活字本の所蔵冊数	大活字本の所蔵冊数	令和5年度の目標値を継続する。徐々に増加傾向にあるが、資料の収蔵スペースが限界に近い。大活字本の計画的な蔵書管理に努め、高齢の方や利用に障害のある方への図書館サービスの充実を目指す。	2,797冊	2,845冊	2,808冊	2,837冊	3,000冊	94.6%	令和7年度は、令和6年度と比較してほぼ同水準となっている。資料の所蔵スペースには限界があるため、厳選の上、資料の量と質の確保に努める。
3-2	大活字本の貸出冊数	大活字本の年間貸出冊数	徐々に増加傾向にある。令和5年度実績値の約1割増を目標値とする。資料の充実とともに、大活字本コーナーの分かりやすい表示やPRIに努め、高齢の方や利用に障害のある方への図書館サービスの充実を目指す。	3,028冊	2,917冊	2,587冊	2,468冊	3,300冊	74.8%	3年連続で減少している。電子図書館における電子書籍では、文字のサイズを利用者自身で調整でき、読み上げ機能付きの資料も多数所蔵しているため、大活字本を必要とする利用者を対象に電子書籍の利用についても促進していく。
3-3	外国語資料の所蔵冊数	英語、中国語、韓国語をはじめとする外国語資料(児童書及び一般書)の所蔵冊数	令和5年度の目標値を継続する。徐々に増加してはいるが、資料の収蔵スペースが限界に近い。一定以上の水準を維持し、多言語サービスの充実を図る。	11,208冊	11,662冊	11,503冊	11,184冊	12,000冊	93.2%	令和7年度は令和6年度と比べてやや減少した。所蔵スペースは限界に近いため、厳選の上、引き続き資料の量と質の確保に努める。つくば市は、外国人居住者の割合が全国平均よりも高く、今後も外国人居住者数の増加が見込まれるため、引き続き外国語資料の充実を図っていく。
3-4	外国語資料の貸出冊数	英語、中国語、韓国語をはじめとする外国語資料(児童書及び一般書)の年間貸出冊数	令和5年度の目標値を継続する。外国語資料コーナーの配架や外国語による掲示等の充実に努め、外国語資料の貸出増を図る。	11,206冊	11,611冊	10,596冊	10,875冊	12,000冊	90.6%	令和7年度は令和6年度と比較してほぼ同じ数値となった。掲示等、外国語の情報発信を強化し、さらなる貸出冊数の増加を図っていく。
3-5	点字資料の所蔵点数	中央図書館のボランティアが作成した点字資料と購入した点字資料の所蔵点数	点訳資料の作成及び収集に努め、所蔵点数増を図り、図書館資料の利用に障害のある方への図書館サービスの充実を目指す。	246点	251点	261点	260点	270点	96.3%	点訳ボランティアによる点字資料の作成を継続的に支援するとともに、計画的に点字資料を購入することでサービスの充実を図りたい。また、点字がはがれて読みにくくなってしまう場合もあるため、点訳ボランティアに資料の修理を依頼することで資料の作成だけでなく、保存も強化していく。

4 地域支援サービスに関する指標（3項目）

No.	目 標 指 標	指標の説明	目標値の設定理由	参考実績値			実績値 令和7年度	目標値	達成度	評価
				令和4年度	令和5年度	令和6年度				
4-1	自動車図書館利用人数	自動車図書館(3台)の年間貸出人数	令和5年度の目標値を継続する。自動車図書館ステーションの見直しや蔵書の充実を図り、適切な周期の運行に努め、図書館サービスの充実を目指す。	12,316人	13,841人	11,287人	9,865人	14,000人	70.5%	昨年度から1割程度減少した。令和7年度は、7か所のステーション施設(学校、保育所、高齢者施設等)で「一般利用不可」の運用となった(令和6年度:2か所)。また、雨天による完全運休が11日間(令和6年度:12日間)、熱中症警戒アラート発令による運休が8日間(令和6年度:4日間)あった。
4-2	自動車図書館貸出冊数	自動車図書館(3台)の年間貸出冊数	令和5年度実績値の約1割増を目標値とする。自動車図書館資料の充実に努め、利用者のニーズに応じた本を積載して各ステーションを巡回することで、貸出冊数の増を図る。	43,337冊	47,583冊	38,457冊	31,985冊	53,000冊	60.3%	利用人数(4-1)の減少とともに貸し出し冊数も減少している。

No.	目 標 指 標	指標の説明	目標値の設定理由	参考実績値			実績値 令和7年度	目標値	達成度	評価
				令和4年度	令和5年度	令和6年度				
4-3	相互貸借貸出冊数	図書館が所蔵していない資料で、利用者の希望を受けて他市等の図書館から借受して貸出を行った資料冊数	近年、1,500冊前後で推移している。令和5年度の目標値を継続する。利用者が求める資料で中央図書館が所蔵していない資料について、他の図書館と連携して利用者に提供する。	1,743冊	1,420冊	1,466冊	1,336冊	1,500冊	89.1%	昨年度微増したものの、減少している。利用者が求める資料を届けられるよう相互貸借サービスについて市HPなどでPRしていく。

5 課題解決支援、ボランティアとの連携、利用者の情報活用能力に関する指標（4項目）

No.	目 標 指 標	指標の説明	目標値の設定理由	参考実績値			実績値 令和7年度	目標値	達成度	評価
				令和4年度	令和5年度	令和6年度				
5-1	レファレンス受付件数	中央図書館のカウンター、電話、電子メール等で受付をしたレファレンス件数	近年、1,400件前後で推移している。利用者の調査研究や調べ学習を支援し、図書館サービスの充実を目指す。	1,458件	1,446件	1,474件	1,629件	1,500件	108.6%	昨年度から約130件増加し、目標を達成した。
5-2	ボランティア登録者数	中央図書館の各ボランティアに登録した人数（複数のボランティアに登録している場合も1人として計算）	例年160人程度を定員とし、募集を締め切っている。多様なボランティア活動の機会や場所を提供し、ボランティアの協力を得ることで図書館サービスの充実を目指す。	156人	151人	164人	178人	160人	111.3%	目標を達成した。令和7年度図書館ボランティアは、令和7年3月3日に募集を開始し、応募多数のため6月末日で募集を締め切った。引き続き、ボランティアの皆様と共に図書館サービスの充実を図っていく。
5-3	ボランティア活動者数	中央図書館の各ボランティア活動に参加した延人数	令和5年度実績値の約1割増を目標値とする。多様なボランティア活動の機会や場所を提供し、ボランティアの協力を得ることで図書館サービスの充実を目指す。	1,906人	1,918人	2,116人	2,356人	2,000人	117.8%	昨年度と同様に多くのボランティアの方に活動いただいた。特に配架ボランティアにおける活動人数が増加している。（昨年度比247人増）
5-4	ボランティア等によるおはなし会等開催回数	図書館ボランティア・図書館職員等が実施したおはなし会・ブックトーク・パネルシアター等の開催回数（学校訪問ブックトーク事業については積算しない。）	おはなしボランティアによるおはなし会（月9回）、図書館職員によるおはなし会（月4回、8月なし）、地域文化ボランティアによるブックトーク等（月2回）、おはなしボランティアによる人形劇・パネルシアター（年2回）、その他様々な形式のおはなし会を随時開催し、読書推進を図る。	152回	192回	183回	144回	160回	90.0%	おはなしボランティアによるおはなし会において、ボランティアからの要望により、1日2回（各回15分間）から1日1回（30分間）に運用を変更した。このため、実施回数が大きく減少した。（ボランティア団体毎に変更時期は異なる。） 令和7年度は、例年実施しているものの他、中央図書館職員による「なつのこわいおはなし会」、つくば市ジオパーク室職員によるおはなし会を実施した。多くの方に参加いただいた。

6 学校図書館等支援に関する指標（6項目）

No.	目 標 指 標	指標の説明	目標値の設定理由	参考実績値			実績値 令和7年度	目標値	達成度	評価
				令和4年度	令和5年度	令和6年度				
6-1	団体貸出利用回数	団体貸出を利用した団体の延利用回数	令和5年度の目標を継続し、新型コロナウイルス感染症流行前の水準（令和元年度：約250回）に戻すことを目標とする。	126回	100回	107回	95回	200回	47.5%	毎年減少している。理由としては、PTA団体の利用が減っていることや、電子書籍が普及していることが一因ではないかと考えられる。今後は、学校への情報発信を強化し、新規団体の増加に繋げていく。
6-2	団体貸出図書冊数	保育所・幼稚園・小学校・児童クラブ・福祉施設等の団体に対しての図書の貸出冊数（1回につき1団体300冊まで3か月間貸出可能）	新型コロナウイルス感染症流行前の水準（令和元年度：約10,000冊）に戻すことを目標とする。	8,187冊	8,703冊	8,376冊	7,587冊	10,000冊	75.9%	上記「団体貸出利用回数」と同様に、貸出冊数も減少した結果となった。積極的な情報発信を行うことで、利用冊数の増加を図っていく。
6-3	社会科見学等の図書館見学受入回数	保育所・幼稚園・小学校・義務教育学校・特別支援学校等による図書館見学の受入回数	読書活動の普及を図るため、受入体制の充実に努め、読書活動の推進を目指す。	6回	5回	6回	10回	10回	100.0%	令和7年度は依頼を多くいただき、目標を達成することができた。引き続き、積極的に受入れを行っていくことで図書館を身近に感じてもらい、幼児、児童の読書推進を図りたい。
6-4	職場体験学習受入人数	8年生（中学2年生）を対象とした職場体験の場として、中央図書館で図書館業務の体験学習を受け入れた生徒の人数	読書活動の普及を図るため、受入体制の充実に努め、読書活動の推進を目指す。	16人	25人	37人	38人	40人	95.0%	令和3年度までは新型コロナウイルス感染症の流行により職場体験の受入れを中止していたが、令和4年度から実施を再開した。令和7年度も目標値の達成には至らなかったが、前年度と同水準となっている。今後も積極的に受け入れることで図書館を身近に感じてもらい、中学生の読書推進を図りたい。
6-5	ジュニア図書館員受入人数	5年生から6年生を対象にした体験型事業「ジュニア図書館員」に参加した児童の人数	読書活動の普及を図るため、受入体制の充実に努め、読書活動の向上を目指す。	0人	56人	42人	24人	75人	32.0%	令和4年度まで新型コロナウイルス感染症の流行により実施を見送っていたが、令和5年度から内容を一新して再開し、2～3回程度のイベントとして実施している。参加人数を増加させるためには、定員及び回数を増加させる必要があるが、現状対応することは困難である。

No.	目 標 指 標	指標の説明	目標値の設定理由	参考実績値			実績値 令和7年度	目標値	達成度	評価
				令和4年度	令和5年度	令和6年度				
6-6	学校司書等の 研修参加人数	学校司書等を対象に実施される研修の参加人数	学校図書館との連携を強化し、学校司書の研修等を支援することで、読書活動の推進を目指す。(令和6年度学校数:50校、学校司書人数:56人)	51人	51人	50人	51人	50人	102.0%	令和4年度から大きな増減はなく、継続して目標値を達成している。令和7年度は学校司書を対象に1回のみ実施しているが、今後は回数や対象の設定を拡大させることで、さらなる連携に努めたい。

7 市民満足度に関する指標（1項目）

No.	目 標 指 標	指標の説明	目標値の設定理由	参考実績値			実績値 令和7年度	目標値	達成度	評価
				令和4年度	令和5年度	令和6年度				
7-1	利用満足度調査の 満足度	図書館利用者に対して図書館サービスについての満足度調査を実施し、「満足」「やや満足」と回答した人の割合	図書館利用者の満足度を把握し、利用者の声をサービスに反映させることで図書館運営の向上を目指す。令和5年度までは中央図書館の利用者のみを調査対象としていたが、令和6年度以降、調査対象を広げて実施予定。	90%	83%	83%	89%	80%以上	111.3%	令和6年度より6ポイント上昇し、目標値を達成している。しかし、回答件数は478件(令和6年度)から186件(令和7年度)に減少しているため、割合から満足度について単純に比較を行うことは難しい。実施時期を例年の2月～3月から3月～4月に変更し、ホームページ及びつくスマによる広報を実施しなかったことが影響した可能性がある。

令和7年度 交流センター図書室蔵書点検報告書

1 概要

目的：谷田部・小野川・荃崎・筑波の各交流センター図書室に所蔵している全資料について点検を行い、資料の実際の所蔵状態を確認する。

実施期間：令和8年（2026年）2月10日（火）・12日（木）～13日（金）

点検対象：谷田部・小野川・荃崎・筑波の各交流センター図書室の全資料

点検者：交流センター図書室業務委託職員（※別紙1参照）

点検機器：ハンディターミナル 28台

〔内訳〕中央図書館用 24台

各交流センター図書室用 4台

2 作業内容

蔵書資料の読み取り作業 2月10日（火）・12日（木）（小野川）

不明資料の検索 2月13日（金）

返却処理、開室準備 2月13日（金）

※12日（木）予備日

3 蔵書点検結果

不明資料点数：令和7年2月から令和8年2月までの間に不明となった資料の点数（※別紙2参照）

谷田部交流センター図書室 18点（所蔵総数：50,660点）不明率：0.04%

小野川交流センター図書室 35点（所蔵総数：32,687点）不明率：0.11%

荃崎交流センター図書室 28点（所蔵総数：49,531点）不明率：0.06%

筑波交流センター図書室 17点（所蔵総数：34,403点）不明率：0.05%

令和7年度交流センター図書室 蔵書点検スケジュール(令和8年2月10日・12～13日)

日 時	作 業 内 容			システム の使用
	谷田部	荃崎	小野川	
10日 (火)	蔵書点検 (読取り作業) 8名 Porty 8台	蔵書点検 (読取り作業) 6名 Porty 6台	蔵書点検 (読取り作業) 5名 Porty 5台	使用可 データの送信をする時は 中央に連絡を入れる
	当日分データ送信	当日分データ送信	当日分データ送信	
12日 (木)	予備日	予備日	蔵書点検 (読取り作業) 8名 Porty 8台	使用可 データの送信をする時は 中央に連絡を入れる
			当日分データ送信	
13日 (金)	不明資料の検索	不明資料の検索	不明資料の検索	使用可 データの送信をする時は 中央に連絡を入れる
	※ 蔵書点検が終了し次第、開館準備に移る。			
	返却処理・開館準備	返却処理・開館準備	返却処理・開館準備	
	※ Portyは中央図書館へ返却(1台は各図書室で保管)			

蔵書点検結果

1 不明資料点数

筑波交流センター図書室	17点	(所蔵総数：34,403点)不明率：0.05%
小野川交流センター図書室	35点	(所蔵総数：32,687点)不明率：0.11%
谷田部交流センター図書室	18点	(所蔵総数：50,660点)不明率：0.04%
荻崎交流センター図書室	28点	(所蔵総数：49,531点)不明率：0.06%

2 分類別不明率

資料区分	筑波			小野川			谷田部			荻崎		
	点検対象 (A)	不明資料 点数 (B)	不明率 (B/A) %	点検対象 (A)	不明資料 点数 (B)	不明率 (B/A) %	点検対象 (A)	不明資料 点数 (B)	不明率 (B/A) %	点検対象 (A)	不明資料 点数 (B)	不明率 (B/A) %
一般図書	12,682	7	0.06	13,809	23	0.17	24,147	4	0.02	26,516	10	0.04
文庫	1,484	0	0.00	2,503	0	0.00	5,277	0	0.00	3,961	6	0.15
コミック	1,489	0	0.00	97	0	0.00	1,745	5	0.29	1,588	0	0.00
参考図書	150	0	0.00	201	0	0.00	119	0	0.00	442	0	0.00
地域資料	989	0	0.00	368	0	0.00	963	1	0.10	726	0	0.00
市政資料	356	0	0.00	406	2	0.49	291	4	1.37	317	1	0.32
児童図書	8,110	2	0.02	7,812	3	0.04	8,815	4	0.05	9,307	7	0.08
紙芝居	621	0	0.00	257	0	0.00	262	0	0.00	264	0	0.00
絵本	6,946	1	0.01	6,438	4	0.06	8,115	0	0.00	5,641	4	0.07
外国語一般	0	0	0.00	3	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00
外国語児童	0	0	0.00	8	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00
外国語絵本	31	0	0.00	43	0	0.00	179	0	0.00	28	0	0.00
視聴覚資料	7	7	100.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00
雑誌	528	0	0.00	486	3	0.62	458	0	0.00	502	0	0.00
児童雑誌	1,010	0	0.00	256	0	0.00	289	0	0.00	239	0	0.00
合計	34,403	17	0.05	32,687	35	0.11	50,660	18	0.04	49,531	28	0.06

交流センター図書室別年度比較（１）

▲…昨年度より減

1 筑波交流センター図書室

資料区分	令和7年度			前年度比	令和6年度			令和5年度			令和4年度			令和3年度		
	点検対象 (A)	不明資料 点数 (B)	不明率 (B/A) %		点検対象 (A)	不明資料 点数 (B)	不明率 (B/A) %	点検対象 (A)	不明資料 点数 (B)	不明率 (B/A) %	点検対象 (A)	不明資料 点数 (B)	不明率 (B/A) %	点検対象 (A)	不明資料 点数 (B)	不明率 (B/A) %
一般図書	12,682	7	0.06	▲ 0.05	12,299	1	0.01	0	0	0.00	12,426	4	0.03	12,750	0	0.00
文庫	1,484	0	0.00	0.00	1,450	0	0.00	0	0	0.00	1,491	0	0.00	1,470	0	0.00
コミック	1,489	0	0.00	0.00	1,473	0	0.00	0	0	0.00	1,357	0	0.00	1,320	0	0.00
参考図書	150	0	0.00	0.00	150	0	0.00	0	0	0.00	151	0	0.00	153	0	0.00
地域資料	989	0	0.00	0.10	977	1	0.10	0	0	0.00	999	1	0.10	981	0	0.00
市政資料	356	0	0.00	0.00	326	0	0.00	0	0	0.00	422	0	0.00	385	0	0.00
児童図書	8,110	2	0.02	▲ 0.02	8,072	0	0.00	0	0	0.00	8,198	1	0.01	8,148	0	0.00
紙芝居	621	0	0.00	0.00	622	0	0.00	0	0	0.00	628	0	0.00	623	0	0.00
絵本	6,946	1	0.01	0.00	6,915	1	0.01	0	0	0.00	6,691	0	0.00	6,473	0	0.00
外国語一般	0	0	0.00	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00
外国語児童	0	0	0.00	0.00	1	0	0.00	0	0	0.00	1	0	0.00	1	0	0.00
外国語絵本	31	0	0.00	0.00	13	0	0.00	0	0	0.00	11	0	0.00	11	0	0.00
視聴覚資料	7	7	100.00	▲ 100.00	7	0	0.00	0	0	0.00	7	0	0.00	7	0	0.00
雑誌	528	0	0.00	0.00	547	0	0.00	0	0	0.00	514	0	0.00	511	0	0.00
児童雑誌	1,010	0	0.00	0.00	968	0	0.00	0	0	0.00	869	0	0.00	821	0	0.00
合計	34,403	17	0.05	▲ 0.04	33,820	3	0.01	0	0	0.00	33,765	6	0.02	33,654	0	0.00

交流センター図書室別年度比較（２）

▲…昨年度より減

2 小野川交流センター図書室

資料区分	令和7年度			令和6年度			令和5年度			令和4年度			令和3年度		
	点検対象 (A)	不明資料 点数 (B)	不明率 (B/A) %	前年度比	点検対象 (A)	不明資料 点数 (B)	不明率 (B/A) %	点検対象 (A)	不明資料 点数 (B)	不明率 (B/A) %	点検対象 (A)	不明資料 点数 (B)	不明率 (B/A) %	点検対象 (A)	不明資料 点数 (B)
一般図書	13,809	23	0.17	▲ 0.11	14,067	8	0.06	13,850	16	0.12	14,014	7	0.05	14,251	8
文庫	2,503	0	0.00	0.04	2,570	1	0.04	2,455	0	0.00	2,397	0	0.00	2,344	0
コミック	97	0	0.00	0.00	97	0	0.00	57	0	0.00	57	0	0.00	53	0
参考図書	201	0	0.00	0.00	217	0	0.00	218	0	0.00	220	0	0.00	220	0
地域資料	368	0	0.00	0.00	363	0	0.00	360	0	0.00	351	0	0.00	341	1
市政資料	406	2	0.49	▲ 0.49	411	0	0.00	384	0	0.00	345	0	0.00	326	0
児童図書	7,812	3	0.04	▲ 0.03	7,581	1	0.01	7,509	0	0.00	7,324	5	0.07	7,091	2
紙芝居	257	0	0.00	0.00	256	0	0.00	256	2	0.78	246	0	0.00	246	0
絵本	6,438	4	0.06	▲ 0.02	6,511	3	0.05	6,396	6	0.09	6,432	1	0.02	6,309	1
外国語一般	3	0	0.00	0.00	1	0	0.00	1	0	0.00	0	0	0.00	0	0
外国語児童	8	0	0.00	0.00	8	0	0.00	6	0	0.00	0	0	0.00	0	0
外国語絵本	43	0	0.00	0.00	43	0	0.00	43	0	0.00	43	1	2.33	38	0
視聴覚資料	0	0	0.00	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0
雑誌	486	3	0.62	▲ 0.41	479	1	0.21	470	4	0.85	474	0	0.00	488	0
児童雑誌	256	0	0.00	0.00	234	0	0.00	210	0	0.00	184	1	0.54	162	0
合計	32,687	35	0.11	▲ 0.06	32,838	14	0.04	32,215	28	0.09	32,087	15	0.05	31,869	12

交流センター図書室別年度比較 (3)

資料区分	令和7年度			前年度比	令和6年度			令和5年度			令和4年度			令和3年度		
	点検対象 (A)	不明資料 点数 (B)	不明率 (B/A) %		点検対象 (A)	不明資料 点数 (B)	不明率 (B/A) %	点検対象 (A)	不明資料 点数 (B)	不明率 (B/A) %	点検対象 (A)	不明資料 点数 (B)	不明率 (B/A) %	点検対象 (A)	不明資料 点数 (B)	不明率 (B/A) %
一般図書	24,147	4	0.02	0.02	24,653	9	0.04	24,327	8	0.03	24,294	6	0.02	23,819	7	0.03
文庫	5,277	0	0.00	0.02	5,144	1	0.02	5,018	3	0.06	4,836	2	0.04	4,886	1	0.02
コミック	1,745	5	0.29	▲ 0.29	1,904	0	0.00	1,928	0	0.00	2,010	0	0.00	1,995	0	0.00
参考図書	119	0	0.00		350	0	0.00	441	0	0.00	441	0	0.00	441	1	0.23
地域資料	963	1	0.10	▲ 0.10	970	0	0.00	965	0	0.00	972	0	0.00	966	0	0.00
市政資料	291	4	1.37	▲ 1.37	259	0	0.00	228	0	0.00	336	2	0.60	324	0	0.00
児童図書	8,815	4	0.05	▲ 0.05	8,615	0	0.00	8,409	1	0.01	8,122	0	0.00	7,923	2	0.03
紙芝居	262	0	0.00	0.30	337	1	0.30	356	0	0.00	344	0	0.00	345	0	0.00
絵本	8,115	0	0.00	0.01	7,890	1	0.01	7,593	0	0.00	7,311	0	0.00	7,023	0	0.00
外国語一般	0	0	0.00	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00
外国語児童	0	0	0.00	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00
外国語絵本	179	0	0.00	0.00	180	0	0.00	180	0	0.00	180	0	0.00	180	0	0.00
視聴覚資料	0	0	0.00	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00
雑誌	458	0	0.00	0.46	436	2	0.46	431	0	0.00	440	0	0.00	431	0	0.00
児童雑誌	289	0	0.00	0.00	355	0	0.00	335	0	0.00	311	0	0.00	289	0	0.00
合計	50,660	18	0.04	▲ 0.01	51,093	14	0.03	50,211	12	0.02	49,597	10	0.02	48,622	11	0.02

交流センター図書室別年度比較（４）

▲…昨年度より減

4 基崎交流センター図書室

資料区分	令和7年度			前年度比	令和6年度			令和5年度			令和4年度			令和3年度		
	点検対象 (A)	不明資料 点数 (B)	不明率 (B/A) %		点検対象 (A)	不明資料 点数 (B)	不明率 (B/A) %	点検対象 (A)	不明資料 点数 (B)	不明率 (B/A) %	点検対象 (A)	不明資料 点数 (B)	不明率 (B/A) %	点検対象 (A)	不明資料 点数 (B)	不明率 (B/A) %
一般図書	26,516	10	0.04	▲ 0.02	27,247	5	0.02	27,466	4	0.01	27,622	8	0.03	27,984	9	0.03
文庫	3,961	6	0.15	▲ 0.13	4,604	1	0.02	4,603	2	0.04	4,586	1	0.02	4,637	2	0.04
コミック	1,588	0	0.00	0.00	1,592	0	0.00	1,594	0	0.00	1,548	0	0.00	1,527	0	0.00
参考図書	442	0	0.00	0.00	445	0	0.00	446	0	0.00	447	0	0.00	513	0	0.00
地域資料	726	0	0.00	0.00	723	0	0.00	714	1	0.14	703	0	0.00	701	0	0.00
市政資料	317	1	0.32	▲ 0.32	304	0	0.00	310	0	0.00	306	0	0.00	367	1	0.27
児童図書	9,307	7	0.08	▲ 0.03	9,744	4	0.04	9,664	1	0.01	9,567	0	0.00	9,241	2	0.02
紙芝居	264	0	0.00	0.00	263	0	0.00	261	0	0.00	261	0	0.00	261	0	0.00
絵本	5,641	4	0.07	▲ 0.05	5,356	1	0.02	5,415	2	0.04	5,654	1	0.02	5,476	0	0.00
外国語一般	0	0	0.00	0.00	0	0	0.00	1	0	0.00	1	0	0.00	0	0	0.00
外国語児童	0	0	0.00	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00
外国語絵本	28	0	0.00	0.00	28	0	0.00	28	0	0.00	28	0	0.00	28	0	0.00
視聴覚資料	0	0	0.00	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00
雑誌	502	0	0.00	0.00	493	0	0.00	501	1	0.20	505	0	0.00	517	0	0.00
児童雑誌	239	0	0.00	0.00	217	0	0.00	344	0	0.00	318	0	0.00	294	0	0.00
合計	49,531	28	0.06	▲ 0.03	51,016	11	0.02	51,347	11	0.02	51,546	10	0.02	51,546	14	0.03

令和8年度中央図書館蔵書点検報告書

1 実施概要

目 的：中央図書館及び自動車図書館に所蔵している全資料について点検を行い、資料の実際の所蔵状態を確認する。

実施期間：令和8年（2026年）6月9日（火）から令和8年（2026年）6月12日（金）まで

点検対象：中央図書館の全資料（視聴覚資料も含む）
自動車図書館の全資料

点 検 者：中央図書館職員・会計年度任用職員（※別紙1参照）

点検機器：ハンディターミナル 27台

2 作業内容

6月9日：中央図書館 書架・書庫点検

自動車図書館 車内・書庫点検

6月10日：中央図書館 書架（視聴覚含む）・書庫点検

6月11日：エラーリスト資料・不明候補資料の搜索

6月12日：ブックポスト返却資料及び配送資料の返却処理、開館準備

3 蔵書点検結果

不明資料点数：令和7年（2025年）6月14日から令和8年（2026年）6月12日までの間に不明となった資料数（別紙2参照）

総数：446点（所蔵冊数：324,645点）不明率：0.14%

[内訳] 中央図書館資料：434点（所蔵総数：284,315点）不明率：0.15%

自動車図書館資料：12点（所蔵総数：40,330点）不明率：0.03%

データ抽出の都合上、不明資料点数には、貸出処理が漏れたまま館外に持ち出された資料や、意図的に持ち去られた資料の数が含まれる。これらの資料が返却された場合には自動的に不明資料でなくなるため、点検日から日数が経過するにしたがって不明資料点数は徐々に減少していく。

例年、蔵書点検に伴う長期休館の前には特別貸出期間を設定しており、通常より貸出期間を長く設けている。今回の不明資料点数の集計は7月中旬時点で行っており、長期休館前に貸し出された資料は、貸出処理が漏れてしまったものも含めておおよそ返却された状態と思われる。

4 過年度の点検結果との比較

令和4年度から令和7年度までの点検結果との比較及び検討を行う。

① 不明資料点数について

通常、蔵書点検は毎年6月に実施している。しかし、令和4年度は図書館システムの更新に伴う休館の時期に合わせて9月に点検を実施している。

上記のことから、蔵書点検の対象期間が年度によって異なるため、不明資料点数を単純に比較することはできない。点検結果を年度間で比較するため、各年度の対象期間に合わせて月平均不明資料点数を算出した（別紙3参照）。各年度の対象期間は下記のとおりである。

- ・ 令和4年度：令和3年7月から令和4年9月（15 か月間）
- ・ 令和5年度：令和4年10月から令和5年6月（9 か月間）
- ・ 令和6年度：令和5年7月から令和6年6月（12 か月間）
- ・ 令和7年度：令和6年7月から令和7年6月（12 か月間）
- ・ 令和8年度：令和7年7月から令和8年6月（12 か月間）

各年度の不明資料点数を図1に示す。本年度の不明資料点数は446点であり、令和7年時の529点より83点減少した。

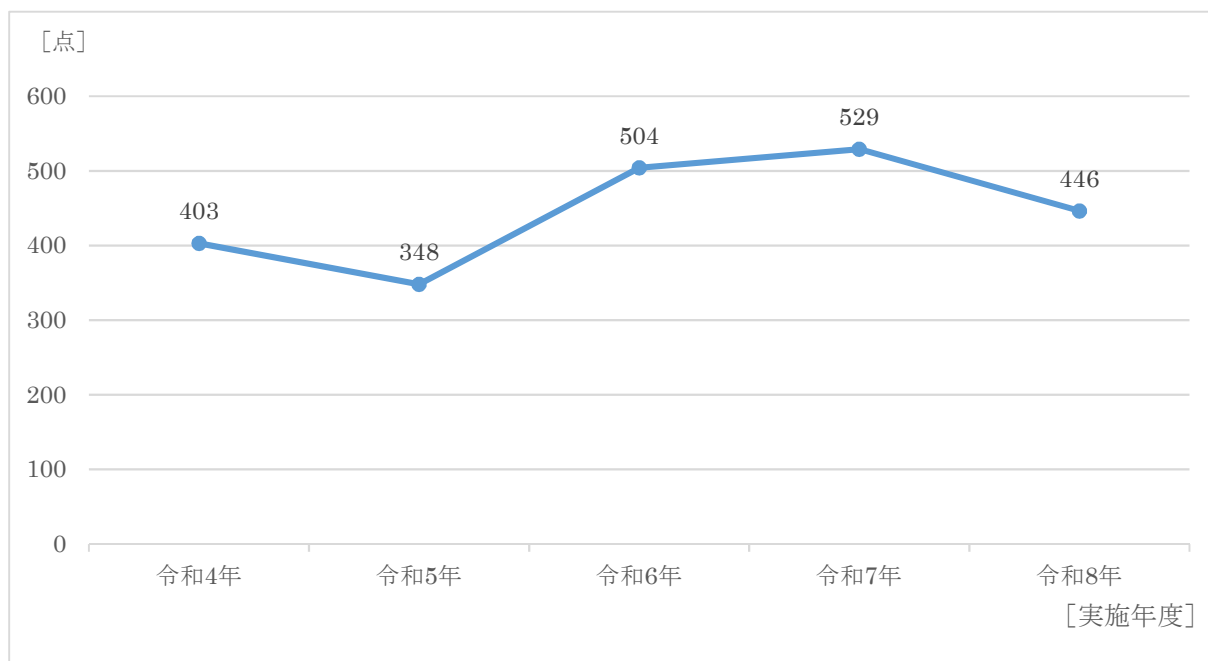


図1 各年度の不明資料点数

各年度の月平均不明資料点数を図2に示す。今回の蔵書点検の対象期間における月平均不明資料は37.2点であり、令和7年度の44.1点より約7点減少した。

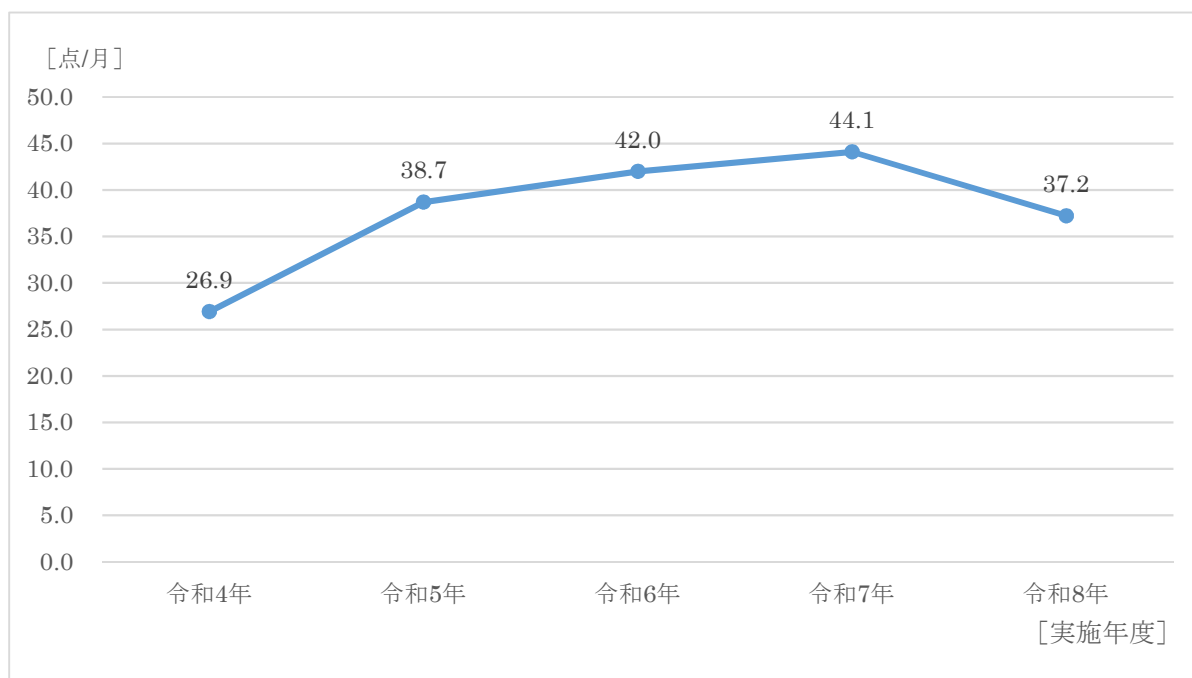


図2 各年度の月平均不明資料点数

※小数第2位を四捨五入

② 資料区分ごとの不明資料点数の増減について

別紙2より、前回点検時と比較して不明率が増加しているのは「参考図書」、「地域資料」及び「児童雑誌」である。参考図書 0.43%、地域資料 0.07%、児童雑誌 0.06%増加した。また、「雑誌」、「市政資料」、「ヤング」についても前年度と比較して減少したものの、他の資料区分に比べ高い不明率となった。その他の区分については概ね例年通りの数値である。

5 不明本の対策について

蔵書点検の結果から、不明資料の要因として利用者による持ち去りや貸出し時の資料のバーコードの読み漏れ等が考えられる。当館では、持ち去りが多いと思われるジャンル及びシリーズの資料を書庫で保管したり、参考資料や人気の高い文庫やコミックなどの資料を職員の目に付きやすいカウンター近くに配置したり、人気のある雑誌の最新号をカウンター内で保管するなどの対策をとっている。持ち去り防止等の対策として、ICタグ及びBDS（ブックディテクションシステム）の導入が案として挙げられる。またその他の対策としては、館内の防犯ミラーや防犯カメラの設置が挙げられる。ミラーやカメラの設置により館内の死角を減少させ、持ち去りの抑止効果が期待できる。しかし、費用や既存システム等への影響などについて検討する必要がある。

自動車図書館車内及び書庫に関しても、リサイクル事業などを活用して適宜資料の入替えを行い、保管場所の確保や所在管理の徹底を行っていく。

蔵書点検スケジュール

別紙 1

月 日	時 間	作 業 内 容	職員 動員数
6月9日	8:30～9:30	ブックポスト返却資料の回収・分類	27名
	9:30～10:00	蔵書点検の説明、蔵書点検機器の操作方法の説明	27名
	10:00～13:00	自動車図書館車内 蔵書点検	6名
	10:00～15:00	自動車図書館書庫 蔵書点検	5名
	10:00～16:30	中央図書館書庫 蔵書点検	10名 (絵本側: 5名 雑誌側: 5名)
	10:00～16:30	中央図書館書架 蔵書点検	4名
	16:30～17:00	ブックポスト返却資料の回収・分類	6名
	8:30～17:00	システム処理	2名
6月10日	8:30～9:30	ブックポスト返却資料の回収・分類	27名
	9:30～13:00	中央図書館視聴覚棚 蔵書点検	4名
	9:30～14:00	中央図書館書庫 蔵書点検	12名 (絵本側: 6名 雑誌側: 6名)
	9:30～16:30	中央図書館書架 蔵書点検	7名 + 4名 (自動車図書館書庫から合流) 4名 (中央図書館視聴覚棚から合流)
	16:30～17:00	ブックポスト返却資料の回収・分類	6名
	8:30～17:00	システム処理	2名
6月11日	8:30～9:30	ブックポスト返却資料の回収・分類	22名
	9:30～11:30	自動車図書館車内・書庫、中央図書館書架・書庫 エラー本搜索	22名
	11:30～15:00	自動車図書館車内・書庫、中央図書館書架・書庫 不明候補資料搜索	14名
	15:00～17:00	開館準備	14名
	8:30～17:00	システム処理	2名
6月12日	8:30～9:30	ブックポスト返却資料の回収・分類	20名
	9:30～15:30	ブックポスト返却資料・配送資料の返却処理・配架	17名
	15:30～17:00	開館準備	17名

蔵書点検結果

令和8年7月現在

1 不明資料点数

446点(所蔵総数:324,645点) 不明率 :0.14%

【内 訳】

・中央図書館資料:434点 (所蔵総数:284,315点) 不明率 :0.15%

・自動車図書館資料:12点 (所蔵総数:40,330点) 不明率 :0.03%

2 分類別不明率

(1) 中央図書館

資料区分	点検対象 (A)	不明資料点数 (B)	不明率 (B/A) %	前年度	前回点検と の比較
一般図書	138,331	292	0.21	0.21	0.00
文庫	18,477	23	0.12	0.23	0.11
ヤング (コミック, 文庫含む)	6,753	10	0.15	0.21	0.06
参考図書	6,029	57	0.95	0.52	▲ 0.43
地域資料	5,213	10	0.19	0.12	▲ 0.07
市政資料	2,052	3	0.15	0.25	0.10
教科書	439	0	0.00	0.00	0.00
児童図書	43,093	15	0.03	0.07	0.04
紙芝居	1,909	0	0.00	0.05	0.05
絵本	26,479	1	0.00	0.06	0.06
外国語一般	6,864	6	0.09	0.11	0.02
外国語児童	2,062	2	0.10	0.15	0.05
外国語絵本	1,936	0	0.00	0.17	0.17
視聴覚資料	13,341	0	0.00	0.00	0.00
雑誌	8,082	13	0.16	0.41	0.25
児童雑誌	3,255	2	0.06	0.00	▲ 0.06
合計	284,315	434	0.15	0.17	0.02

(2) 自動車図書館

資料区分	点検対象 (A)	不明資料点数 (B)	不明率 (B/A) %	前年度	前回点検と の比較
一般図書	14,046	0	0.00	0.08	0.08
児童図書	26,284	12	0.05	0.13	0.08
合計	40,330	12	0.03	0.11	0.08

(3) 雑誌について

盗難、切抜きの多発する一部の最新号は、書架に置かず中央カウンターで管理している。

カウンター保管 : 6種(総雑誌タイトル:212種)

蔵書点検結果 年度別比較表

資料区分	令和8年度			令和7年度			令和6年度			令和5年度			令和4年度		
	点検対象 点数	不明資料 点数	不明率 (%)	点検対象 点数	不明資料 点数	不明率 (%)	点検対象 点数	不明資料 点数	不明率 (%)	点検対象 点数	不明資料 点数	不明率 (%)	点検対象 点数	不明資料 点数	不明率 (%)
中央 図書館	一般図書	138,331	292	0.21	136,603	289	0.21	135,369	286	0.21	134,002	190	136,327	214	0.16
	文庫	18,477	23	0.12	17,715	41	0.23	17,584	34	0.19	17,706	20	17,049	36	0.21
	ヤング (コミック・文庫)	6,753	10	0.15	6,644	14	0.21	6,404	6	0.09	6,491	4	6,825	11	0.16
	参考図書	6,029	57	0.95	5,949	31	0.52	5,911	33	0.56	5,838	22	5,816	8	0.14
	地域・市政資料 ※1	7,265	13	0.18	7,133	11	0.15	6,937	8	0.12	6,905	8	6,849	10	0.15
	教科書	439	0	0.00	440	0	0.00	398	1	0.25	361	1	361	1	0.28
	児童図書 ※2	71,481	16	0.02	71,299	50	0.07	71,291	45	0.06	69,086	9	67,866	36	0.05
	外国語一般	6,864	6	0.09	7,059	8	0.11	7,669	4	0.05	7,589	6	7,513	12	0.16
	外国語児童 ※3	3,998	2	0.05	3,749	6	0.16	3,763	0	0.00	3,495	4	3,366	0	0.00
	視聴覚資料	13,341	0	0.00	13,070	0	0.00	13,174	1	0.01	13,194	0	13,014	0	0.00
	雑誌 ※4	11,337	15	0.13	11,436	34	0.30	11,210	34	0.30	11,141	32	11,844	21	0.18
	合計	284,315	434	0.15	281,097	484	0.17	279,710	452	0.16	275,808	296	276,830	349	0.13
自動車 図書館	一般図書	14,046	0	0.00	13,777	11	0.08	13,056	13	0.10	14,134	19	14,656	16	0.11
	児童図書	26,284	12	0.05	26,923	34	0.13	26,396	39	0.15	26,335	33	26,173	38	0.15
全資料合計	合計	40,330	12	0.03	40,700	45	0.11	39,452	52	0.13	40,469	52	40,829	54	0.13
	全資料合計	324,645	446	0.14	321,797	529	0.16	319,162	504	0.16	316,277	348	317,659	403	0.13
月平均 不明資料点数			37.2			44.1			42.0			38.7		26.9	

※1 地域・市政資料：地域資料と市政資料を合わせて算出した数値

※2 児童図書：児童図書と紙芝居と絵本を合わせて算出した数値

※3 外国語児童：外国語児童と外国語絵本を合わせて算出した数値

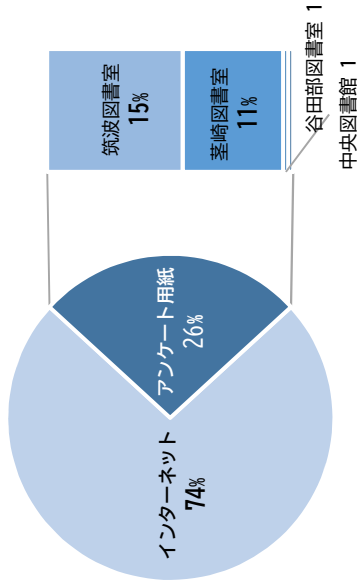
※4 雑誌：雑誌と児童雑誌を合わせて算出した数値

令和7年度つくば市立図書館利用者満足度調査 結果報告

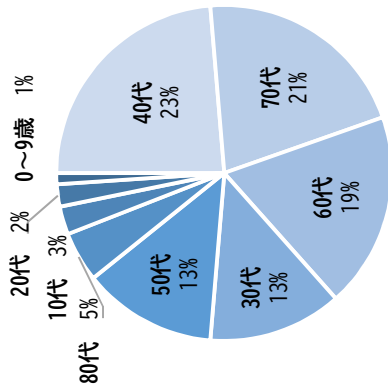
■ 調査の目的：図書館利用者の利用実態や満足度を調査し、図書館運営に生かすための基礎資料として活用する。
 ■ 調査期間：令和8年3月24日～4月26日（34日間） ※うち中央図書館開館日数は30日間。小学校図書室開室日は10日間

回答件数・回答方法

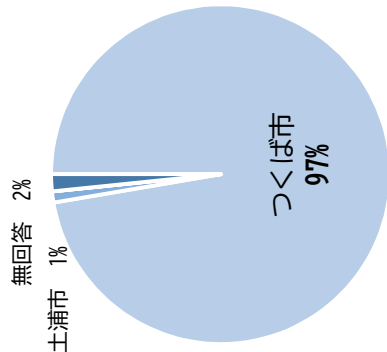
計186件 インターネット137件・アンケート用紙49件



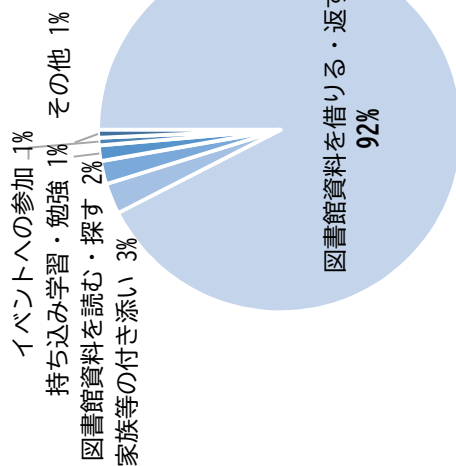
回答者年代



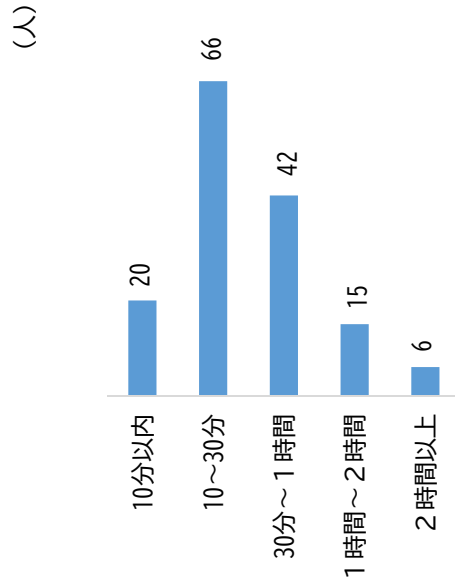
回答者居住地



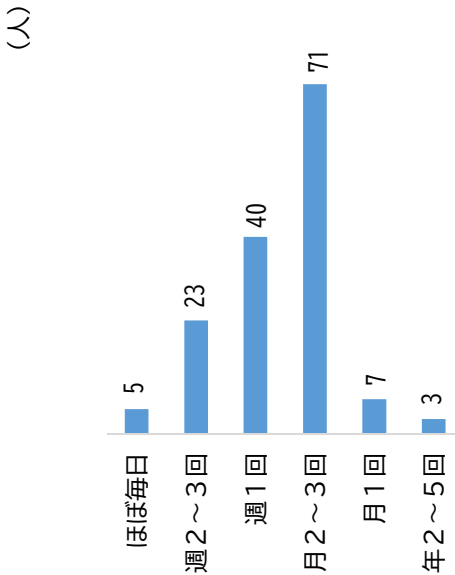
図書館に行く目的



図書館での滞在時間

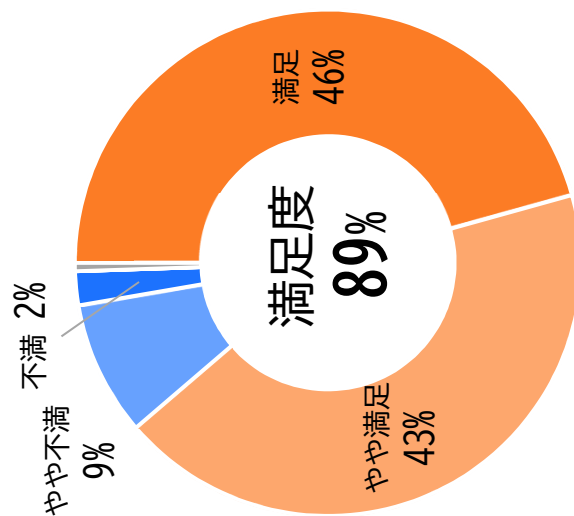


図書館への来館頻度



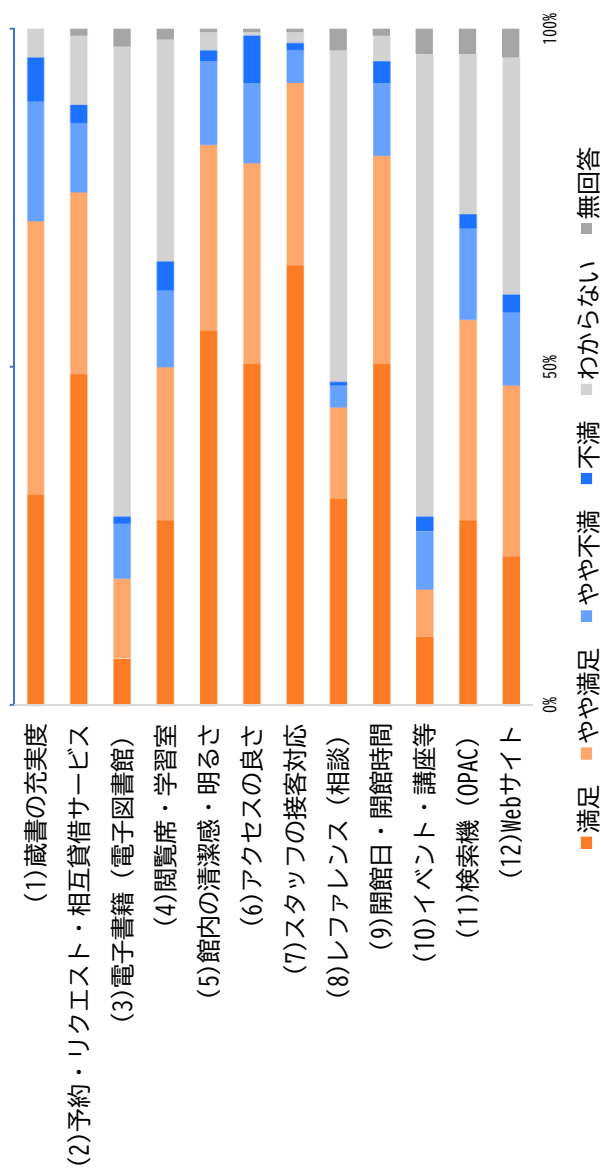
満足度

■ 総合的な満足度



「満足」「やや満足」を合わせて、約89%の人に満足と回答いただけている。

■ 各サービス・要素に対する満足度



全体として多くの項目で「満足」「やや満足」が高く、特に (7)スタッフの接客対応、(5)館内の清潔感・明るさなどの環境・接客面で高い満足度を得ている。

一方、(3)電子書籍、(10)イベント・講座等、(8)レファレンスの3項目については、「わからない」の回答が突出して多く、サービス自体の認知度の低さや利用経験の少なさに課題があると考えられる。

(1)～(12)のうち、一番重要だと思う項目を尋ねたところ、約63%の人が(1)蔵書の充実度を選択した。

令和7年度 つくば市立図書館利用者満足度調査 アンケート用紙

いつも図書館をご利用いただきありがとうございます。

今後のつくば市の図書館サービスの参考とさせていただくため、下記のとおり、アンケート調査を実施します。

ご記入いただいた用紙は、【令和8年4月26日（日）】までにカウンター・窓口の職員までお渡しください。

（回答所要時間：10分程度）

インターネット（いばらき電子申請・届出サービス）からの回答にご協力ください！

※「利用者登録せずに申し込む方はこちら」のボタンからお進みください。



1 あなたご自身について

(1) ご年齢	歳
(2) お住まいはどちらですか。 右回答欄に当てはまる数字をご記入ください。 1 つくば市内 2 つくば市外・茨城県内 3 つくば市外・茨城県外	
【2 つくば市外・茨城県内にお住まいの方】 右回答欄に、お住まいの市町村名をご記入ください。	
【3 つくば市外・茨城県外にお住まいの方】 右回答欄に、お住まいの都道府県名をご記入ください。	

2 図書館の利用状況について

設問	回答欄
(1) ふだん一番利用している場所はどこですか。(1つのみ) 1 中央図書館 2 谷田部交流センター図書室 3 小野川交流センター図書室 4 荃崎交流センター図書室 5 筑波交流センター図書室 6 コミュニティ棟予約本受取窓口 7 かとりだ交流館予約本受取窓口 8 研究学園小学校図書室 9 みどりの南小学校図書室 10 自動車図書館 11 利用していない	
(2) 上記のうち、(1)で回答した以外にも利用している場所があれば、 当てはまる番号を記入してください。(複数選択可能)	
(3) 図書館・図書室等に行く一番の目的はどれですか。(1つのみ) 1 図書館資料を借りる・返す 2 図書館資料を読む・探す 3 持ち込み学習・勉強 4 家族等の付き添い 5 イベントへの参加 6 その他	

※裏面もございます

設問	回答欄
(4) 図書館・図書室での滞在時間はどのくらいですか。(1つのみ) 1 10分以内 4 1時間～2時間 2 10～30分 5 2時間以上 3 30分～1時間	
(5) 図書館・図書室等をどのくらいの頻度で利用していますか。(1つのみ) 1 ほぼ毎日 5 月1回 2 週2～3回 6 年2～5回 3 週1回 7 年1回 4 月2～3回 8 あまり利用しない	

3 各項目の満足度について、当てはまる数字を記入してください。

※一番利用している図書館・図書室がある方は、その施設について回答してください。

① 満足 ② やや満足 ③ やや不満 ④ 不満 ⑤ わからない

設問	回答欄(1～5)
(1) 蔵書の充実度	
(2) 予約・リクエスト・相互貸借サービス	
(3) 電子書籍(電子図書館)	
(4) 閲覧席・学習室	
(5) 館内の清潔感・明るさ	
(6) アクセスの良さ	
(7) スタッフの接客対応	
(8) レファレンス(相談)	
(9) 開館日・開館時間	
(10) イベント・講座等	
(11) 検索機(OPAC) ※館内の検索機、スマホ等での蔵書検索を含みます	
(12) Web サイト ※2025年7月図書館ホームページをリニューアルしました	
■ 上記(1)～(12)の中で、一番重要だと感じる項目はどれですか。	

設問	回答欄(1～4)
総合的な満足度について、当てはまる数字を記入してください。 ① 満足 ② やや満足 ③ やや不満 ④ 不満	

その他、ご意見がありましたらご記入ください。

ご協力いただきありがとうございました！
記入が終わったアンケート用紙は、カウンター・窓口の職員にお渡しください。